

官報

號外

明治四十年三月二十六日

火曜日

印刷局

第二十三回 帝國議會 衆議院議事速記録第二十一號

明治四十年三月二十五日(月曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第二十號 明治四十年三月二十五日

午後一時開議

第一 關東都督府及韓國駐軍陸軍軍法會議法案(政府提出) 第一讀會

第二 右讀案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 農工銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

明治三十八年度豫備金支出ノ件

明治三十八年度豫備金外ニ於テ豫

算超過及豫算外支出ノ件

明治三十八年度特別會計豫備金支

出ノ件

明治三十八年度特別會計豫備金外

ニ於テ豫算超過支出ノ件

明治三十八年度清國事件第二豫備

金支出ノ件

明治三十八年度臨時事件豫備費支

出ノ件

明治三十八年度臨時事件豫備費外

ニ於テ豫算外支出ノ件

煙草專賣法中改正法律案(福井三郎外)

市場法案(川島龍藏外)

高等學校ヲ四國ニ設置スルノ建議案(田中定吉外)

國語及字音假名遣ニ關スル建議案(三輪信次郎)

議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

貴族院ヨリ刑法改正案兩院協議會成案ヲ送付セラレタリ

貴族院ハ本院送付ニ係ル政府提出樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案ヲ可

決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

第二女子高等師範學校位置ニ關スル建議案

提出者 江原 素六君 奧野 市次郎君 內貴甚三郎君

一奧野市次郎君ヨリ故坂上田村磨雄表ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案

佐藤 虎次郎君 神戶 松之輔君

福島 美之助君 松原 九郎君

高木 龍藏君 三輪 猶作君

日本勸業銀行法中改正法律案外一件

島津 良知君 永島 龜代司君

河原林 義雄君 清水 隆德君

大野 龜三郎君 奧村善右衛門君

北海道函館外四港修築ニ關スル建議案外一件

吉植 庄一郎君 中西 六三郎君

中倉 萬次郎君 平島 松尾君

大津 淳一郎君 淺羽 靖君

殖民廳設立ニ關スル建議案

松本 君平君 日向 輝武君

川原 茂輔君 飯島 省三郎君

田中 喜太郎君 紫垣 一雄君

衆議院規則中改正案

竹越 與三郎君 高橋 安爾君

澤田 正中君 江藤 新作君

片山 正中君 望月 小太郎君

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案

大井 卜新君 澤田 佐助君

榎本 卿太郎君 金岡又左衛門君

山根 正次君 花井 卓藏君

一委員ヲ指定スルコト左ノ如シ

ホアル開設ニ關スル建議案

吉植 庄一郎君 松浦 五兵衛君

楠目 玄君 島山 敬二郎君

高橋 金治君 淺羽 靖君

森林法改正案

木暮 武太夫君 石井 信君

後藤 文一郎君 美福 龍彦君

武滿 義雄君 工藤 善助君

前島 元助君

安念次左衛門君

鈴置 倉次郎君

景山甚右衛門君

坂口仁一郎君

早速 整爾君

內藤 魯一君

守屋 此助君

橋本 久太郎君

江藤 哲藏君

森田 卓爾君

山口 熊野君

田中 定吉君

國井 庫君

鵜飼 退藏君

青柳 信五郎君

東尾 平太郎君

武市 庫太君

山崎 良純君

安田 勳君

小林 仲次君

河原林 義雄君

山本 幸彦君

河井 重藏君

安念次左衛門君 佐藤 伊助君 小田 文行君
齋藤 良輔君 大野 龜三郎君 南條吉左衛門君
福島 宜三君 藤崎 朋之君 川真田德三郎君
(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

故阪上田村督憲表ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也
明治四十年三月二十五日

提出者 奥野 市次郎 贊成者 井上與一郎
外二十九名

故阪上田村督憲表ニ關スル質問書

一故阪上田村督憲表ニ關スル建議案ハ既ニ兩院ヲ通過シ其實行ヲ平和克復ノ後
二期セリ然ルニ今ニ至リテ未其緒ニ就タラ見ス政府ノ該建議案ニ對スル所信如何
右及質問候也

○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○遠山正和君 議長、遠山

○議長(杉田定一君) 何デス

○遠山正和君 大藏大臣が御出デニナッテ居リマスカラ、私ハ大藏大臣ニチヨット質問
ヲシタイ

○議長(杉田定一君) 何ノ質問デス

○遠山正和君 述ベマセウカ

○議長(杉田定一君) 何デス
○遠山正和君 市街宅地ノ地價修正ノコトデス、述ベマセウカ

○議長(杉田定一君) 問題ニ關係ガナイヤウデ……

○遠山正和君 大藏大臣が御出デニナッテ居ルカラ、チヨット御尋シタラ宜イ

○議長(杉田定一君) ドウモ漠然トシタコトデ、何カ問題ニ關係ガアツテ、何カ議案ニ
關係ガアツテナラ宜シイガ

○遠山正和君 議案ニ關係ハナイ質問デス

○議長(杉田定一君) ソレデハ質問ノ手續ヲ經テ御質問ニナルヤウニ

○元田肇君 議長

○議長(杉田定一君) 元田君、何デス

○元田肇君 會議ニ掛ツタノデスカ

○議長(杉田定一君) ハイ

○元田肇君 唯今皆が申シマス、刑法改正案ニ關シマスル兩院協議會ノ結果ヲ此際
報告サレマシテ、議事日程ヲ變更シテ直ニ議事ニ移ラレントラ望ミマス

(「贊成」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 兩院協議會ノ刑法改正案ノ議案ヲ報告ラシ、畢ッテ、議事
日程ヲ變更シテ之ヲ會議ニ付スルト云フ元田君ノ發議ニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○谷澤龍藏君 議長

○議長(杉田定一君) 何デス

○谷澤龍藏君 決算委員會ヲ是ヨリ開キタウゴザイマスカラ……(「刑法ガ濟ンデカラ」)

ト呼フ者多シ此問題ガ濟ンデラ直ニ許可セラレントヲ……ドウカ各員モ此問題ガ濟
ンデラ決算室ヘ御集リヲ願ウコトニシマス

○議長(杉田定一君) 磯部四郎君

刑法改正案兩院協議會成案

第四十三條及第七十七條ハ貴族院議決案ノ通其ノ他ハ衆議院議決案ノ通トス

(磯部四郎君登壇)

○磯部四郎君 是ヨリ一昨二十三日午前十時ヨリ開會ニナリマシタ兩院協議會ノ
結果ヲ御報告致シマス、一昨二十二日午前十時ニ兩院ノ協議會室ニ即チ雙方ヨリ
十名ヅ、協議委員ガ御寄合ニナリマシテ、ソレカラ議長ハ抽籤ノ結果、衆議ノ方ハ議
長席ガ當リマシタノデゴザイマス、即チ不肖ガ其職ヲ辱ウ致シマシタ、ソレニ付キマシテソ
レカラ開會ニ相成リマス、即チ貴族院ノ方カラハ富井政章君ガ、貴族院ニ於カレテ
此衆議ノ所謂修正案ニ反對セラレマシタ箇條ガ十箇條ゴザイマス、其反對セラレマシ
タ理由ヲ一々御説明ニ相成リマシタ、然ルトコロガ尙衆議院ノ方ヨリハ即チ花井卓藏君
ガ、衆議院ニ於キシテ修正ヲ致サレマシタ各條項ノ理由ト云フモノヲ明ニ御説明ニナリ
マシテ、實ニ其間ノ論爭ハ二時間ニ亘リマシテゴザイマス、是ニ於テ協議委員ノ一人
タル谷澤龍藏君ヨリシテ特別交渉委員ヲ三名ヅ、設ケテ、即チ此交渉ト云フコトニ
致シタラ如何デアラウト云フ意見ガ出マシテ、其意見ヲ直ニ御採用ニナリマシテ、ソレヨ
リ午後一正午ヨリシテ丁度其交渉委員トシテ衆議院ヨリハ元田肇君、奥田義人
君、花井卓藏君、貴族院ヨリ側ニ於キマシテハ村田保君、富井政章君、一木喜徳郎
君、此三名各々議長ヨリ通告相成リマシテゴザイマス、是ヨリ其交渉委員ノ交渉ノ結
果、要スルニ貴族院ニ於テハ此刑法ノ第四十三條即チ未遂罪ニ關係スル部分、並ニ七
十七條內亂ニ關係スル死刑ヲ廢シマシタ部分、是ハ最モ貴族院ハ重キヲ措カレテ、其二ツ
ヲ讓歩スルナラバ、アトノ衆議院ノ總テノ修正ハ悉ク讓歩シヤウト云フコトニ協議經リ
マシタ趣デゴザイマス、ソレヨリ午後一時ニ更ニ開會致シマシテ、各交渉委員ヨリ其協議
ノ成立タ事柄ヲ報告ニ相成リマシテ、報告ノ結果、滿場一致ヲ以テ即チ此協議案ノ
通ニ可決相成リマシタ次第デゴザイマス、而シテ承ルトコロニ依リマス、今日貴族院ニ
於テハ其協議成案ト云フモノガ即チ議事ニ上リマシテ、滿場一致ヲ以テ御可決ニ相成
リマシタ趣デゴザイマス、時日モ切迫致シテ居リマス、當院ニ於カレマシテモ直ニ
議事日程ヲ變更セラレテ、即チ協議ノ結果ノ成案ニ滿場一致ヲ以テ御可決アランコト
ヲ願ヒマス、次第アリマス、此段報告致シマス

(「贊成」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 協議案ハ問題トナッテ居リマス

○長谷場純孝君 刑法ノ改正ハ多年ノ宿題デアッタノガ、貴衆兩院共ニ非常ナル精
査審議ヲ盡サレ、サウシテ此途ニ協議會ヲ開キ、其協議會ノ結果ハ唯今協議會ノ議
長カラ報告ニナッタ通、誠ニ私ハ我帝國ノ文明ノタメニ祝スベキコトデアラウト存シマス、
故ニ私ハ此唯今磯部君カラノ御報告ヲ贊成致シマス、願クハ滿場一致ヲ以テ贊成セラ
レントヲ……

(「贊成」ノ聲起ル)

○望月長夫君 唯今ノ成案ニ對シマシテハ吾々モ長谷場君ト同様ニ滿場一致ヲ以テ
贊成シマシテ、此案ノ速ニ成立スルコトヲ希望致シマス

(「採決」ト呼フ者アリ)

○花井卓藏君 衆議院ノ修正ノ全體ガ通過致シマセヌコトハ、甚ダ遺憾デゴザイマス

ルガ、之ヲ犧牲ニ供シマシテモ本案ノ成立スルト云フコトハ、國民全體ノ輿論アゴザイマスカラシテ、暫ク譲リマシテ他日ノ修正ヲ期シテ本會ニ於キマシテハ、滿場一致ヲ以テ決定ニ至ランコトヲ希望シマス

○谷澤龍藏君 本員モ此案ノ協議會ノ通ニ滿場一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ望ミマス

(採決々々ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 最早御議論モナイヤウデアリマスルア、採決ヲ致シマス、協議會ノ成案ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

總起立

○議長(杉田定一君) 協議會ノ成案ハ滿場一致ヲ以テ可決セラレマシタ

(拍手起ル)

○望月長夫君 明治三十四年法律三十一號中ノ改正法律案ト云フモノ、委員會ヲ唯今ヨリ開キタイ、ソレカラハ不幸ニシテ度々流會ニナリ居リマスルア、今日ハ是非共御實行ニナルヤウニ願ヒタイト思ヒマス、御許ヲ願フト同時ニ其委員ノ諸君ニ御願フシテ置キマス

○議長(杉田定一君) 唯今望月長夫君カラ明治三十四年法律二十九號中改正法律案ノ委員會ヲ開キタイト云フ御請求ガアリマスル、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス

○望月長夫君 ソレバドウカ委員諸君ハ第四委員會ニ御集リヲ願ヒマス

○横井時雄君 請願委員會ヲ是ヨリ開キタイゴザイマスカラ、ドウカ御許ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 請願委員會ヲ開キタイト云フ請求ガアリマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス

○横井時雄君 ドウカ委員ノ御方ハ御集リヲ願ヒマス

○山本幸彦君 唯今ヨリ森林法ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ……

○議長(杉田定一君) 森林法ノ委員會ヲ開キタイト云フ請求ガアリマス、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス

○山本幸彦君 委員長ノ諸君ハアチラニ御出ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 日程第一、關東都督府及韓國駐軍陸軍軍法會議法案

第一讀會

議案朗讀

第一 關東都督府及韓國駐軍陸軍軍法會議法案

(書記朗讀)

關東都督府及韓國駐軍陸軍軍法會議法案

關東都督府及韓國駐軍陸軍軍法會議法案

第一條 關東都督府及韓國駐軍ニ陸軍軍法會議ヲ設ク

第二條 關東都督府陸軍軍法會議及韓國駐軍陸軍軍法會議ハ關東都督及韓國駐軍司令官ノ所管及守備地方ヲ以テ管轄トス

二箇以上ノ軍法會議ヲ設クルトキハ各軍法會議ノ管轄ハ關東都督又ハ韓

國駐軍司令官之ヲ定ム

第三條 軍法會議ノ構成、權限及治罪ニ關スル手續ハ陸軍治罪法師管軍法會議ノ例ニ依ル

第四條 關東都督及韓國駐軍司令官ハ陸軍軍法會議ニ關シ師團長ノ師管軍法會議ニ於ケルト同一ノ職權ヲ有ス

第五條 陸軍檢察官ハ陸軍治罪法第三十一條ノ諸官ノ外關東都督府陸軍副官及韓國駐軍副官ヲ以テ之ニ充ツ

(陸軍大臣寺內正毅君登壇)

○陸軍大臣(寺內正毅君) 唯今提出ヲ致シマシタ、即チ此關東都督府及韓國駐軍司令官部ニ軍法會議ヲ置キマスルコトニ致シテ此法案ヲ出シマシタ、元來此御承知ノ如ク軍法會議ハ内地ニ在テハ各師管ニ置イタルデアリマス、又戰時若クハ事變ニ際シマシテハ分駐シ、或ハ派遣ヲシテ師團、或ハ混成ノ旅團等ニ於キマシテハ軍法會議ヲ置クコトガ出來ル法律ガゴザイマスルガ、此海外ニ於テ平時ニ師團ヲ派遣スル等ノタメニ、軍法會議ヲ置クコト云フコトガ法律ニ規定シテゴザイマセヌ、今回此關東都督府、及韓國駐軍司令官部ハ平時ノ組織ニ改リマシタニ付イデハ、更ニ法律ヲ以テ此規定ヲスルノガ穩當デアラウト考ヘマシタ、此法律案ヲ提出シテ聲明デアリマス、會期モ切迫シテ居リマスルデアリマスルガ、此法案ハ誠ニ單簡ナ法案デアリマスカラ、速ニ御審查ノ上テ協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望シマス

○花井卓藏君 此機會ニ於テ陸軍大臣ニ質問ヲシタイノデアリマスガ、本案ノ根本法ト相成リマスル陸軍治罪法、頗ル缺點ノ多イ陸軍治罪法、而シテ本文刑法ハヤハリ此法案ノ根本法ニ相成ルトコロノモノデアリマス、陸軍刑法、陸軍治罪法ハ普通刑法、普通訴訟法ト權衡ヲ保ツ趣意ニ於テ出來上テ居ルノデアリマスガ、唯今兩院協議會ノ成績ヲ御報告ニ相成リマシタ、成績通りニ決定ニ相成リマシタル如ク、普通刑法ハ全然改正セラレタノデアリマスルガ、同一ノ歩ミヲ取ラナクシテ陸軍刑法、陸軍訴訟法ノ御改正ノ企ハナイノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、若シアルト致シマスレバ、次期ノ議會ニ出ルノデアリマセウカ、出ナイノデアリマセウカ、何ッテ置キタイ

(陸軍大臣寺內正毅君登壇)

○陸軍大臣(寺內正毅君) 花井君ノ御質問ニ御答致シマスガ、陸軍ノ刑法及治罪法ノ改正ヲ致スノ必要ガアルト云フコトハ承知致シテ居リマシタ、其調査ニ著手シテ居リマスノデ、追テ協贊ヲ求ムルノ運ニナリマセウト考ヘマス

○議長(杉田定一君) 別段御質問モナイヤウデアリマスルデ、次ノ日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員議長指名アランコトヲ望ム、會期モ切迫デアリマスカラ、委員ハ成ルベク速ニ審查アランコトヲ……

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發議ノ通り、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス——日程第三第四第五同一ノ委員ニ付託セラレデアリマスルデ、併セテ委員ニ報告サセマス、委員長島津良知君

(島津良知君登壇)

○島津良知君 日本勸業銀行法中改正法律案外二件ノ委員會ノ結果ヲ御報告申上ケマス、此勸業銀行ノ方ハ御説ノ通り二十圓ノ債券十圓ニ低減スルコト云フ、コレカラモウハ此利札ノコトニ付キマシテ是迄此利札ノ即チ利子ヲ仕拂マスル債券所有者ハ餘程手數ト、殊ニ少額ノ利子デゴザイマスルカラシテ、段々未拂ガ嵩シテ、既ニ今日勸業銀行ノ方デ、コレ等ノ未拂ガ六十萬圓ニ上テ居ルシ、コレハ是ハ債券所有者ノ便利ノためニ是迄六箇月毎ニ三拂ヒマシタ利札ヲ、六箇月過キマス之ニ尙利子ヲ付シマシテ、サウシテ三箇年ニ一度ノ見込デ其利子ノ仕拂マスル、斯ウ云フ先ヅ便宜法ヲ設ケルト云フ案デゴザイマシテ、是ハ委員會中ニ於キマシテモ或ハ農工銀行ノ方ノ鈞合若クハ二十圓ニ云フコトニ致シテ見テ、コレガ往カナイト云フコトハ仕方ガナイガ、未ダ行ヒマセヌ中カラ此額ヲ二十圓ノモノヲ十圓ニスルト云フコトハ、少シク早計デナイカト段々質問モ致シテ見マシタガ、政府ノ方デ申シマスニ戰時中デ貯蓄債券ノ五圓ノモノヲヤッテ居、所謂此小サイ額面デ募集致シテ居、之ヲ今二十圓ニ上セルト云フコトニナレバ、ドウモ零碎ノ資金ヲ吸收スルニ困難ナル、斯ウ云フ見込カラ銀行ノ方デモ便利又募集ニ應ズル人モ便利ト云フ見込デ、此ノ如ク改正ヲ要スルノデアル、斯ウ云フヤウナ説明デアリマシタ、ソレヨリ農工銀行法中改正法律案ト、コレカラ此拓殖銀行ノ方ハ同一ノ改正案デゴザイマシテ、是ハ貸付方ニ即チ產業組合デゴザイマスガ、此產業組合ノ區域ヲ擴張シテ、サウシテ、借ル人ノ上ニ於テ極ク便利ニシタイ、謂ハニ是迄無限責任ノモノデナケレバ貸サヌト云フコトコロ、其產業組合ヲ擴張シマシテ、サウ云フコトコロノ便利ヲ計ッテヤルト云フコトデゴザイマシテ、是モ極ク單純ナ改正案デゴザイマス、ソレデ委員會ハ數回質問答ヘ末ニ是ハ何レモ三案共原案ヲ可決スルコトニナッタデゴザイマス、此段御報告申上ケマス

○議長(杉田定一君) 日程第三、日本勸業銀行法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ議題トシマス

第三 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出貴族院送附)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○高橋安爾君 本員ハ此際大藏大臣ニ質問シタイコトガゴザイマス、本案ハ私ノ至ッテ歡迎シナイ案デゴザイマス、其故ニ一ニ質問ヲ試ミテ置キタイト考ヘルノデアリマス、勸業銀行ノ割増債券ノ發行ト云フモノハ既ニ十餘回ニ及シテ居リマスガ、本案ニ據リマスト既ニ終リテ告マシタ彼ノ戰時中ノ政策トシテ執行セラレマシタコト貯蓄債券ト云フモノヲ、折衷ヲシテ即チ二十圓ノ債券額ヲ十圓ニ引下ケテ、サウシテ十圓ノ債券トシテ發行スル形式ニナルヤウデゴザイマスルガ、之ニ依ッテ見マスト尙吾々ノ最モ嫌フトコロノ貯蓄債券ノ發行ト云フモノハ、既ニ終リテ告ケタルニモ拘ラズ、此勸業債券ノ割増債券ノ中ニヤハリ其實ハ生存シテ居ルヤウナコトニ相成ラウト考ヘルノデアル、從テ割増債券ノ如キ、富饒同様ナル債券ヲ發行致シマシテ、地方ノ財力ヲ吸收スルコト云フコトハ、私ハ地方經濟ニ其影響スルコトコホ甚大ナルコト常ニ考ヘテ居ルノデアリマス、又個様ナル債券ハ射幸心ヲ增長セシムル惡政策デアリマスカト云フコトハ、私ハ常ニ憂ヘテ居ル、然ルニ政府ハ向後貯蓄債券ト云フ其實ハ生存セシムル方法ヲ採テ、勸業債券ノ名ノ下ニ之ヲ行ハントスルハ、果シテ地方經濟ニ影響スル所ガナイト云フ御考デアリマスガ、又社會一般ニ斯様ナ惡シキ風俗ヲ增長セシムル虞ナシトスル御考デアリマセウカ、私ハ第一此點ニ付イテ御答ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二ニハ是ハ甚ダ申シニクイコトデアリマスガ、勸業銀行ノ貸出ニ關シテハ由來掩フベカラサル弊害ヲ耳ニシテ居ルノデアル、即チ盛ンニ

賄賂ガ行ハレ請託ガ行ハレ普通ノ手段ヲ以テハ殆ド此金融ヲ得ルノ途ガナイト云フヤウナ實況ニアルト云フコトデゴザイマス、果シテ斯ノ如キモノト致シマスレバ、勸業銀行ト云フモノハ一般銀行ニモ殆ド類似ノナイ毒惡ノ府デアッテ、現ニ銀行ノ利用ヲ缺クノミナラズ、此銀行ハ將來恐レベキ危險ヲ含シテ居ラスカト考ヘルノデアル、御承知ノ如ク普通銀行トハ違ヒマシテ、長キ期間ニ辨濟ヲ得ベキ方法ヲ立テラレテアルノデアル、デアリマスカラ若シ斯ノ如キ事實ガ此銀行ノ營業上ニアリマスル上ハ、貸主ノ銀行ト借主ナル是等當事者ノ取引ト云フモノハ、跡ハ野トナレ山トナレト云フ野山主義ヲ取引スルト云フ眞ハアルマイカ、私ハ此銀行ノ性質トシテ第一ニ御尋シタ經濟上ノ利害アルノミナラズ、營業上ニ於テ斯様ナコトガアルトシマシタナラバ、政府ハ現在ニ於テ、又將來ニ於テ十分ナル監督ヲセラル、必要ガアルト認メラレテ居ルノデアリマスガ、否ヤト云フコトヲ十分ニ御答辯アラント希望致シマス

(大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇)

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 唯今ノ高橋君ノ御質問ニ御答致シマス、勸業銀行債券ニ割増ノ付イテ居リマスルコトハ、是ハ此度ノ改正ニ依ッテ始マル譯デアリマシマシテ、元來勸業債券ニハ割増ガ付イテ居リマス、是ハ勸業銀行法制定ノ當時、割増ヲ付ケルト云フコトハ僥倖心ヲ挑發スルノ憂ハナイカト云フコトニ付キマシテ、其利害ノ議論ハ十分ニゴザイマシタコトデゴザイマスガ、是ハ富饒トハ性質ノ違フト云フハ、元金ヲ返シ、利息ヲ一定ニ附シマスノデアリマス、唯花籤ト致シマシテ附ケマスル部分ガ平等ニ配當セラレヌト云フノデアリマス、詰リ元金モ返シ利息モ附ケルノデアルカラ、其點ニ於テハ普通ノ預金ト異ナルトコロハナイノデアリマス、單ニ花籤ヲ付ケルト云フ一點ガ多少ノ僥倖心ヲ挑發スルコト云フコトニナル、併ナカラ各國ノ例ヲ見マスルト云フト之ニ依ッテ貯蓄心ヲ獎勵スルノ利益ト云フモノガ大ナルモノデアル、又貯蓄心ヲ獎勵シタ結果ガ、貯蓄金ヲ產業ニ利用スル上ニ於テ大ナル利益ノアルコトハ歴々トシテ明デゴザイマスカラ、種々議論ノ結果、本邦ニ於キマシテモ勸業銀行法ニ之ヲ採用スルコトニ決シマシタノデアリマスガ、決シテ富饒ト同性質ノモノデアリコトハ明デアル、又其結果ト致シマシテ今日ハ勸業、農工雙方ノ銀行ヲ通ジテ既ニ九千七百萬圓餘ノ貸出ヲシテ居リマシテ、多大ノ利益ヲ產業上ニ與ヘテ居リマス、而シテ貯蓄債券ト云フモノハ戰時中ノ經驗デ、是ハ即チ平和克復後一箇年ノ期限ヲ以テ止メルコトニナリマシタノデアリマスガ、其經驗ニ依リマスル五圓ノ貯蓄債券ヲ發行スルコトニ付イテ別段弊害ト云フモノハ認メテ居リマセヌ、却テ下女トカ下男トカ云フ極ク僅ノ貯蓄ヲ致シマス者ハ之ニ依ッテ却テ貯蓄心ヲ増シテ居ルト云フヤウナ結果モゴザイマス、即チ佛蘭西ノ如キハ最モ貯蓄ノ多イトコロノ國デアリマスガ、極メテ下層ノ社會マデモ貯蓄心ガ富シテ居リマスノデアリマス、我國ニ於キマシテモ將來極メテ下層ノ零碎ノ資本ヲ貯蓄シテ、國ノ富ヲ進メルコトニ付イテ注意シナケレバナラヌコト、考ヘマス、況ハ戰後ノ今日又種々戰時ニ續キマシテ政府ノ事業ナリ、民間ノ事業ガ戰後續々起ッテ居ル今日、民間ニ散布致シマス零碎ノ資金ヲ吸收スルニハ今日ノ時期ガ最モ大事ナ時期デアル、即チ是等ノ事情ニ鑑ミマスレバ勸業債券ノ二十圓ヲ十圓ニ改メルコトハ極メテ適切ナルコト、政府ハ信ジテ居リマス、第二ノ點、即チ勸業銀行ガ貸出ヲスル場合ニ種々ナル口實ヲ設ケテ、甚ダ不當ナルコトヲ申シテ貸出ヲ受ケル者ガ迷惑ヲシテ居ルト云フ風説ガアルガ、政府ハ其點ヲ認メルカト云フ、此點ニ付キマシテハ、是ハ政府ハ常ニ最モ警戒ヲ加ヘテ居ル點デゴザイマシテ、單リ勸業銀行ニ止ラス、何レノ銀行ニ於キマシテモ此弊害ハ動モスレバ增長致シマスコトデゴザイマス、即チ俗ニ銀行ノ門ニハ往々稅關ガアッテ困ルト云フコトヲ申シマスノデ、其稅關ナルモノハ

頭取も知ラズ、又支配人モ知ラズシテ貸付係ノ者ガ、其金ヲ借りニ來タ者ハ必ズ切迫ヲシタ場合ニ借りニ來ルカラ、イロ／＼コトヲ言ウテ賄賂見タヤウナモノヲ貪ル弊ガ、動モスレバ銀行デモ生シ易イ、單リ勸業銀行バカリデナイ、各銀行ノ頭取支配人ノ最モ警戒シ、注意致シマスノハ此弊害ノ助長セヌヤウニ、増長セヌヤウニ注意致シマスノデアリマス、此點ニ付キマシテ勸業銀行ニ於キマシテモ、決シテ既往ニ於テ其弊害ニ罹ラコトガナイト云フコトハ斷言出來マセヌ、往々ニシテ不心得ノ者モ必シ出ナカタトハ申サレマセヌガ、今日ニ於キマシテハ唯今御尋ノ如キ非常ナ弊害ハ政府ニ於キマシテ認メテ居リマセヌ、尙將來十分嚴重ニ此點ハ警戒ヲ加ヘテ居リマス

○守屋此助君 大藏大臣ニ私ハ開キタイノデスガ、今ノ零碎ノ金ヲ集メルコトニ付イテ私ハ元ノ貯蓄債券ノ如ク金額五圓トナッタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、然ルニ前ノ貯蓄債券デハ五圓デアルモノ今度ハ十圓ト上シテ、サウシテ其金ハドノ部分カラ吸收スルカト云バ、今大藏大臣ノ説明ニハ下女若クハ車夫トカ若クハ一般ノ下等ノ労働者ノ金ヲ集メル程度ニ於テスルト云フ考ダト言ハレマシタガ、其程度ニ於テ日本ノ經濟界ハ大藏大臣ハ十圓ノ如キ多額ノ金高ヲ以テ相當ト認メテ居ルト云フ其理由ヲ問ヒタイ、私共十圓ト云フ金高ハ高過ギルト思フ、是ハ元ノ五圓デモ或ハ高イト思フテ居ルノニ、十圓トセラレテ理由ヲ開キタイ

〔大藏大臣法學博士阪谷芳郎君登壇〕

○大藏大臣(法學博士阪谷芳郎君) 守屋君ノ御質問ニ御答致シマスガ、是ハハヤリ種々議論ガアリマシタコトデ、小サイ程資金ノ吸收ニハ便利ト存ジマスガ、既往ノ經驗ニ依リマスト餘程手ガ掛リマスノデ、ソレカラ又十圓ト云フモノハ最早大イナル金額ト云フ譯デアリマセヌデス、先ヅ十圓ト極メマスコトガ今日ニ於テ適度ヲ得タモノト政府ハ考ヘマス

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲシマス、本案ノ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス

○恆松隆慶君 直ニ二讀會ヲ開カレテ讀會ヲ省略シテ、確定セラレンコトヲ希望致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、直ニ二讀會ヲ開キマス

日本勸業銀行法中改正法律案

○議長(杉田定一君) 全部ヲ讀題トシマス——委員長報告通御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ——日程第四、農工銀行法中改正法律案第一讀會ノ續

第四 農工銀行法中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)
○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデスカラ採擇ヲシマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス

○恆松隆慶君 直ニ二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略シテ、確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通直ニ二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略シテ、確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、直ニ二讀會ヲ開キ全部ヲ讀題ニ供シマス

農工銀行法中改正法律案

○議長(杉田定一君) 委員長報告通御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲシマシタ——日程第五、北海道拓殖銀行法中改正法律案第一讀會ノ續

第五 北海道拓殖銀行法中改正法律案 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(杉田定一君) 別段御議論モナイヤウデアリマスルデ、採決ヲシマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス

○恆松隆慶君 本案モ直ニ二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略シテ、確定セラレンコトヲ希望致シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通直ニ二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略シテ、確定スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、直ニ二讀會ヲ開キマス

北海道拓殖銀行法中改正法律案

○議長(杉田定一君) 全部ヲ讀題ニ供シマス——委員長報告通御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲシマシタ——日程第六、明治三十八年度豫備金支出ノ件外六件ヲ讀題トシマス、委員長大津淳一郎君報告

我國歲計豫算ニアリマス。トコロノ豫備費ハ、三十八年度ニ於テハ第一豫備金ガ百萬圓、第二豫備金ガ百萬圓アルノデゴザリマス。豫備金ハ斯ノ如ク少額ナルニ拘ラズ、政府ガ是マデ年々使ヒマシタトコロノ所謂國庫剩餘金、私ハ之ヲ稱シテ所謂ト申シマス。政府ハ勝手ナ名ヲ附ケテ居リマス。所謂此國庫剩餘金ナルモノハ如何程使ウテ居ルカト云ヘバ、實ニ驚クベキ額ナル、即チ明治三十七年度ニ於テ所謂國庫剩餘金ナルモノハ一千万圓以上、三十八年度ニモ一千万圓以上アル、三十九年度ニ九百何万圓、一千万圓近クナリテ居ル、今度——今日吾々ノ問題トシテ居リマス。トコロノ事後承諾案ニ依ッテ見マス、普通ノ金ガ一千一百万圓ノ外ニ臨時事件費豫備費ニ於キマシテ國庫剩餘金二千八百萬圓ト云フ金ヲ使テ居ル、隨分驚クベキ大金デアリマセウ。此驚クベキ大金ヲ歲計豫算ノ上ニ於テ翌年度ニ殘スト云フコトハ如何デゴザリマセウ。敏腕ナル大藏大臣ハ斯ノ如キ下手ナ豫算ヲ組ミ譯ハナイ、年々歲々一千万圓以上ノ剩餘金ト云フモノガ殘ルト云フ豫算ノ組方ハ、果シテ賢明ナル財政家ノ組ンダ豫算ト云フコトガ出來マセウカ、私ハ大藏大臣ノ手腕ヲ固ク信ジテ居リマス。斯様ナ杜撰ナル豫算ヲ組ム大藏大臣デハナイ、斯様ナ賢明ナル大藏當局者ノ組ンダ豫算ガ何ノタメニ、斯ノ如キ多額ナル所謂剩餘金ト云フ勝手ニ使フトコロノ金ヲ年々生ジテ來ルノデゴザリマス。茲ニ至リマス。ト云フコトハ不幸ニモ此豫算ヲ編成スル當局者ニ向テ、或ハ豫算編成ノ當時ニ於テ故ラニ支出ノ方ヲ大キクシテ、故ラニ收入ノ方ヲ少ナクシテ、始メヨリ所謂國庫剩餘金ナルモノヲ生ゼシメヤウト云フヤウナ、所謂誠實ナラザルトコロノ考ヲ持ッテヤラレタノデハナイカト云フ疑ヲ生ジテモ、恐ラクハ之ニ對シテ辯解ノ辭ガナカラウカト考ヘマス、併ナガラ、今日マデノトコロハ最早已ムヲ得ナイガ、今日ニ於キマシテハ吾々ハ年々歲々ノ例ヲ履ミマシテ、剩餘金ヲ使フコトハ憲法ニ反シ、法律ニ反シテ居ルカラ使フコトハ出來ナイト云フ規則ヲ滿場一致ヲ以テ議決致シマシタトコロノ今日デゴザリマス、一面ニ於テハ國庫剩餘金ナルモノハ憲法ニ反シ、法律ニ反シ、議會ノ協贊ヲ經ナイ金デアルカラ、使フコトハ出來ナイト云フコトヲ制定シナガラ、一面ニ於テハ四千万兩ト云フ無法ノ支出、第二豫備金トモ稱スベキ金——是ハ日本ニミアル金デアル、私ハ之ヲ第三豫備金ト稱シテ居ル、第一第二豫備金ノ外ニ四千万兩ノ剩餘金ヲ使テ居ル、所謂政府ガ責任ヲ以テ支出スル——國務ノ進歩ヲ阻害スルコトハ出來ヌカラ責任ヲ負ヒテ使フ、即チ責任支出ト云ヒマス。レドモ責任支出デナクシテ、是ハ第三豫備金デアル當初ヨリ當テニシテ使テ居ル、斯ノ如キモノニ向テハ一面ニ於テ之ヲ嚴禁スル法律ヲ制定シ、一面ニ於テ承諾案ニ承諾ヲ與ヘタナラバ如何ノモノデアラウ、斯ノ如キコトヲスルカラ貴族院ハ衆議院ヲ侮リ、政府ハ衆議院ノ院議ヲ重シナリノデアアル、一方ニ法律ノ改正案ヲ通過シ、一面又承諾ヲ與ヘルト云フハ實ニ前後矛盾デアアルノミナラズ、自ラ侮ルモノデアアル、故ニ事後承諾ノコト故、力ヲ入レテ論ズルノモ、如何デアアルカ、衆議院ノ面目上承諾ヲ與ヘヌコトニ希望致シマス。

○大津淳一郎君 先程ノ委員會ノ經過ノ報告ノ中ニ大切ノ箇條ヲ落シマシタカラ補足ヲ致シマス、是ハ所謂剩餘金支出ノ議事ニ掛リマシタ時分ニ、小川君ノ述べラレタ議論ガ委員會ニ起リテ、結局承諾ヲ與ヘルトニ決シタニ付イテハ、剩餘金支出ヲ濫出サレテハ困ル、且又法律上疑義モアリテ、會計法ノ改正ヲ本院ニ於テ通過シタノデアアルカラ、政府モ此場合剩餘金ノ支出ハ大ニ注意ヲ加ヘ、後來漫リニ剩餘金ノ支出ヲシナイヤウニシタイト云フコトニ承諾ヲ與フル要件トシテ決議シタノデアリマス、是ハ落シマシタカラ報告ノ補足ヲ致シテ置キマス。

○議長(杉田定一君) 森本駿君

(森本駿君登壇)

○森本駿君 諸君、此事後承諾案ニ付イテハ委員長ヨリ委員會ノ報告ノアリマシタ通りノ條件ヲ以テ、多數ハ之ニ承諾ヲ與ヘルトニ決シタノデアリマスガ、他ニ剩餘金ノ分ニ對シテハ全部承諾ヲ否認スル、而シテ其理由ハ先ニ會計法改正案ヲ通過シタ精神ヲ以テ、承諾ヲ與フベキモノニアラズト云フコトヲ小川君カラ出サレマシタノデアリマスガ、從來ノ慣例ニ依ルニ政府ハ剩餘金支出ノコトハ責任支出ト云フ慣例ヲ以テ解決サレテ居ルカラ、全部承諾ヲセヌト云フコトハ、九議會以來最早出ズニ居タノデ唯其内事項ニ依ッテ、即チ事實ニ付イテ承諾ヲ與ヘタ事例ハアルガ、全部承諾ヲ與ヘヌト云フコトハ、事實ニ依ッテ與ヘタリ與ヘナカッタシタノデアアルカラ、大體ニ於テ承諾ヲ與ヘヌト云フコトハナラヌヤウニト云フ、政府委員ノ答辯モアリマシタ、ツレバ會計法改正案ガ法律トナテ尙剩餘金支出ノコトガアレバ、固ヨリ法律上許スベカラザルトデアアルガ、然ルニ本院ニ於テハ會計法改正案ガ通過シタケレドモ、貴族院ノ委員會中デ法律トナテ居ラヌ今日デ、此時後承諾案ヲ決スルニ至ッタノデアアルカラ、此際政府ガ剩餘金ヲ漫ニ支出スルハ斷然宜クナイ、サウ云フコトハ決シテサセナイダケノ注意ヲ十分與ヘテ、サウシテ此際ハ從來ノ慣例ニ依ッテ事後承諾ヲ與ヘル、尙是ダケノ注意ヲ與ヘタニ拘ラズ、此後事後承諾ヲ受ケルトキニ剩餘金ノ濫出アルヲ見タナラバ、是ハ十分警戒ヲシテ其時ニハ事實ト云フヨリハ、大體ニ於テ之ヲ認メナイト云フ決議スルモ差支ナイ話デアアルガ、今日迄ハ已ムヲ得ズトシテ、支出シタモノ、之ヲ審議シテ已ムヲ得ヌトシタナラバ、從來ノ慣行ヲ以テ暫ク承諾ヲ與フルコトニ決シタノデアリマス、蓋シ會計法改正案ノ運命ハ未定デアアルガ、政府ニ於テモ此衆議院ノ忠告ヲ十分容レ、所謂第三豫備金ノ姿ニ流レルヤウナ剩餘金支出ノナイヤウニ、政府モ責任ヲ守ラル、ト存ジマスカラ、委員長報告ノ如ク此案ニ承諾ヲ與フルコトニ御贊成アラントラ望ミマス。

○恆松隆慶君 討論終結、採決ヲ願ヒマス。

○議長(杉田定一君) 御議論モナイヤウデスカラ、採決致シマス、小川君ノ反對意見ハ剩餘金支出ノ事後承諾案ニハ全部承諾ヲ與ヘヌト云フ意見デアリマス、是ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス——委員長報告即チ承諾ヲ與フルコトニ同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス。

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、委員長報告通り決シマス。

○山根正次君 茲ニ緊急動議ヲ出シマス、藥品營業法藥品取扱規則中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ此際報告シテ、議題ニ上セタイト思ヒマス。

(「贊成」ト呼ブ者アリ)

○議長(杉田定一君) 山根君

(山根正次君登壇)

○山根正次君 此藥品營業法藥品取扱規則中改正法律案、此委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ兩度開キマシテ此案ハ全會一致ヲ以テ決シマス、其前ニ於テハ、政府委員ハ多數ノ質問ニ答ヘ、精シイ答辯ガアリマシタカラ、此案ニ付キマシテハ修正ノ説ガ一ツ出タノデアリマス、ツレバ何デアアルカト申シマス、附則ニ於キマシテ免許ヲ得テ五箇年以上藥種商トナテ、本法施行ノ際ニ現ニ其業ヲ營ムモノニ許スト云フコトニナリテ居リマスガ、家督相續シタ場合ニ於テモ其年限ヲ通算スルト云フ修正

説が出タノデアリマス、是ハ「家督相續ニ依リ藥種商ヲ繼承シタルモノ」ニ付テハ先代ノ營業年限ヲ通算ス「ト云フ」ノ之ニ賛成ガアリマシタガ、少數テ倒レタノデアリマス、此案ヲ決シマス際ニ當テ委員ハ此案ハ甚ダ十分ナ案デアリナイ、何故カナレバ醫師ニ於テ制裁ガ付ケテナイトカ、藥劑師ト藥種商ト大ニ學問ノ研究ノ度合ガ違フニ拘ラズ、同一ノ待遇ヲスルト云フヤウナコトハ面白クナイ、併ナガラ今日ノ場合此法律案モ一ツノ進歩デアル、進歩ノ階段デアラガ故ニ、之ヲ賛成スルト云フコトデアッタノデアリマス、サウシテ委員會ハ全會一致ヲ以テ改正通リ此案ヲ議決シタノデアリマス、右ノ通り御報告ヲ致シマス、私ハ是ガ申シテ置キマス

○ 恆松隆慶君 日程變更ハ議題トナリマシタカ

○ 議長(杉田定一君) マダナリマセヌ

○ 恆松隆慶君 ドウカ日程ヲ變更シテ唯今ノ案ヲ議題トセラレンコトヲ望ミマス

○ 議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、日程ヲ變更シテ本案ヲ會議ニ附スルニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○ 議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、問題ニナリマシタ山根正次君

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案(政 第一讀會ノ續(委員長 府提出貴族院送付)

(山根正次君登壇)

○ 山根正次君 私ハチヨット希望ヲ述ベテ置キマス(「簡單」ト呼フ者アリ) 私ハ極ク簡單ニ少シバカリ賛成ノコトニ付イテ申上ゲテ置キマス、私ハ屢「不正」ノ藥品ノ有ルコトニ付イテハ或ハ質問ニ或ハ現物デ諸君ニ御目ニ掛ケテ、此ノ如キ不正品ノアル以上ハ此法律ノ改正ガ必要デアルト云フコトヲ此前申シテ置キマシタ、ソレデ此法律ハ一ツノ階段デアリマスカラ、私モ十分ナル 規則ノ立派ナルモノトハ思ヘマセヌケレドモ、衛生上ノ改良ヲ加ヘル上ニ於テ一ツノ階段デアリマスカラ、ドウカ御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○ 議長(杉田定一君) 別段御異議ハナイヨウデアリマスカラ、採決シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○ 議長(杉田定一君) 御異議ハナイモノト認メマス

○ 恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○ 議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り直チニ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○ 議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、全部ヲ議題ニ供シマス

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案

第二讀會

○ 福井三郎君 本員ハ修正意見ヲ提出シマス

○ 議長(杉田定一君) 外ニ通告ガアリマスカラ……磯部四郎君

(磯部四郎君登壇)

○ 磯部四郎君 本案ハ唯今委員長ヨリ報告セラレマシタル通り、即チ衛生ノ一般ヲ重シシラレト云フコロカラ、藥品ノ取締ト云フコトデアリマスカラ、大體ニ於テハ至極御尤ナ案ト云フコトハ私モ心得テ得リマス、サリナガラ如何ニ必要ノコトデアルト申シテモ理窟ニ合ハナイ法律ヲ以テ、此藥品ノミヲ保護セラレヤウトスルト、一方ニ大變無理ガ掛ル、土臺社會ノ事柄ハ何事ニ依ラズ一トシテ弊害ノナイモノハゴザイマセヌ、其弊害ヲ調和シテ行クノハ法律ノ力デアリマスカラ、其調和スルトコロハ何レニ於テモ理窟ニ適テ居ナクテハナリマセヌガ、私ハ藥品其物ハ如何ヤウナモノデアリマスカラ、深イコトハ存ジマセヌケレドモ、免ニ角荷モ罰加ヘルト云フコトニ付キマシタハ、私ノ本領トシテ此案ハ甚ダ理窟ニ合ハナイ案デアルト云フコトハ、一言出來ルデアラウト信ジマス、其次第柄ハ此藥品ヲ取締ルト云フノ口實ヲ以テ、事實ヲ知デモ知ラナクテモ又自分ノ關係シタコトデアッテモ、己ノ棚ニ飾ツタ藥品デアレバ、之ガタメニソレヲ罰スルト云フ規則ガ、此原案ノ三十七條ノ三ニ掲ゲ「藥種商ニテ事實ヲ知ラスシテ云々」ト云フコトガアリマス(「分ッタク」ト呼フ者アリ)此點ガ能ク御分リニナタナラバ、定メテ私ニ賛成ト云フコトデアリマセウガ、表ニ分ッテ内實之ニ反對セラル、ト云フコトハ甚ダ其當ヲ得ナイコトデアリマスカラ、私ハ尙言フベキコトダケハ申シマス、荷モ人ニ刑ヲ科スルニハ責任ガ無クテハナラナイ、總テノ商人ト云フモノハ責任ヲ持ツテ業務ヲシテ居リマスガ、何等ノ事情モ知ラズシテ製藥者ノ方カラ封緘ノ儘受取ツタモノヲ、ソレガ腐ッテ居ルノニマデ責罰ヲ加フルハ、法律ノ理窟ニ於テ相成ラヌコトデアリマスカラ「事實ヲ知ラスシテ」ト云フ文字ヲ削除シシマハナケレバナラヌデアリマス、ソレカラ今一ツハ少數テ倒レタノデアリマスガ、五箇年ノ職業ト云フコトデアリマス、五箇年其職ニ在ルモノハト云フ此五箇年以上ト云フ文字ヲ削除セラレ、免ニ角現ニ藥種屋デ永年業務ヲ營ンデ居ッテ、其藥品其物ニ付イテハ其品ヲ取扱ハセラレテ差支ナイコトデアル、單リ藥品ノ純良ヲ計ルガタメニ、法理ト云フモノヲ全ク殺シシマフト云フト、他ニ十分サウ云フ趣意ヲ以テ、營業上莫大ナル損害ヲ負ハシメンケレバナラヌヤウナ事柄ハ澤山ゴザイマセウカラ、斯様ナ事柄ニ付イテハ、世ノ中ノコトハ一トシテ弊害ノ多少無イモノハナイト云フ位ノコトハ、諸君ハ御覺リアッテ宜カラウト思フ、一方ヲ保護スルタメニ何處マデモ其方ハ法律ノ力ヲ以テ、責罰ノ原因モ何モ無イモノニ罰ヲ食ハシテモ、尙此藥品ヲ守護センケレバナラヌト云フノハ、餘程諸君ハ病魔ニ襲ハレテ、誠ニ自分ガ健全ヲ保テナイ、少シク病氣ノタメニ狂奔シテ居ラル、弊ガアリハシナイカト考ヘマスルガ、サウ云フモノデヤアゴザイマセン、十分醫者ノ診斷ヲ受ケテ御遣リ爲スナラバ、ソシナニ心配ノモノデハナイカラ、此等ノ處ハ法律ノ理窟ニ合ツタモノニ御定メニナルガ然ルベキコト、思フカラ、右ニ箇條ハ御削除アラントラ偏ニ願ヒマス

○ 議長(杉田定一君) 磯部君ノ修正動議ニ定規ノ賛成ガアリマスカ

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○ 議長(杉田定一君) 贊成ガアルト認メマス

○ 福井三郎君 本員ハ今磯部君ノ修正動議ガ成立チマシタナラバ、其範圍ニ大抵入ラレラウト思ヒマスカラシテ、先ツ磯部君ノ修正動議ノ採決ノ結果ヲ見テ、之ガ容レラレマシタナラバ、モウ修正動議ハ出シマセヌ、若シ之ガ容レラレナカッタナラバ、本員ハ別

ニ修正勸諭ヲ出ス積リデアリマス、ソレデ先ヅ磯部君ノ修正勸諭ニ付イテ採決ヲ冀ヒマス

○議長(杉田定一君) 青柳信五郎君

(青柳信五郎君登壇)

○青柳信五郎君 唯今磯部君ヨリシテ修正ノ意見が出テ居リマシテ、ソレニ對シテハ私ハ反對、即チ原案ニ賛成ノモノデゴザイマス、殊ニ私ハ委員ノ一人ト致シマシテ、十分取調ベタ結果、決シテ差支ナイモノト認メマスルガ故ニ、唯賛成ノ意見ヲ極メテ短ク申上ケテ置キマス、藥種商が知ラズシテ藥品ヲ賣買若クハ貯藏ヲ爲シ場合ニハ、知ラナイ者ヲ問フト云フコトハ、甚ダ苛酷デハナイカト云フ御趣旨デゴザイマス、併ナガラ藥品ハ極メテ貴重ナルモノデアル、人體ノ生命ニ關スルモノデアルガ故ニ、此取締ト云フコトハ十分附ケナケレバナラス、今日ノ現行法ニ據リマスレバ、知ラナイト云ヘバ最早之ニ對シテ罪ヲ論ズルノ方法ガナイ、ソレ故ニ不正藥品ト云フモノ、多キコトハ、皆サンノ噴々耳ニ御入レナサルコトデアル、苟モ責任ヲ負ウテ藥劑師トシテ、竝ニ藥劑師ヲ雇入レタ藥種商、竝ニ五箇年以上ノ經驗ヲ積ンダ藥種商ガ、變敗シタノデアルカ、或ハオカシクナッテ居ルノデアルカト云フコトヲ知ラナイデ、ソレヲ直チニ患者ニ醫師ノ處方箋ニ據ッテ與ヘ、竝ニ醫師ノ需用ニ應ジテ之ヲヤルト云フコトハ、甚ダ危險ナルモノデアッテ、今日マデノ法律ニ據レバ、之ニ對シテ處罰スルコトハ出來得ナイノデアル、即チ監視員ガ往ッテ、ソレヲ調ベマシテモ、私ハソレヲ知リマセヌト言ヘバ、其儘如何ニ危險ナル不正藥品ヲ取扱ッテモ罪ヲ論ゼヌト云フコトハ、甚ダ不都合ナル話デアル、十分ナル責任ヲ負ッテ貰ヒタイト云フノガ本案ノ趣旨デアル、尙又五箇年以上ト云フコトヲスルノハ甚ダイケナイト云フ意見デ、詰リ一般ノ藥種商ニ此七十一種ノ指定藥品ノ取扱ヲサセロト云フコトデゴザイマス、是モ甚ダ私ハ宜シクナイと思フ、而シテ藥品ハ變敗シ易キモノ、極メテ貴重ナル藥品デアリマス以上ハ、此取扱ニ對シテハ十分ナル責任ヲ負ウテ、十分ナル注意ヲ以テ需用者ニ之ヲ渡サナケレバナラヌモノト考ヘマス、ソレ故ニ藥劑師が果シテ是ダケノ需用ニ應ズルコトガ出來得マスルナラバ、吾ハ藥學ヲ知ッテ居ルトコロノ藥劑師ニヤラセタイノハ本意デアリマス、併ナガラ今日ノ有様デハ、僅カニ二千有餘、三千ノ藥劑師ガ到ル此需用ヲ滿タスコトガ出來ナイ、故ニ藥種商ノ中ニ免ニ角五年以上、此藥業ニ從事スルナラバ、藥劑ニ對シテノ經驗ガアリ、變敗シタモノハ直チニ認ムルコトガ出來ル、或ハ鎖細ナル試驗方法ノ如キモノハ知ッテ居ルノダ、ソレ故ニ免ニ角經驗ノアル分ッダ者ニ、此指定藥品ノ販賣ヲ許スト云フコトハ、決シテ私ハ無理カラヌコトデアラウト存ジマス、ノミナラズ指定藥品ハ僅ニ七十一種、藥品ノ數ハ五百有餘ニモナッテ居リマス以上ハ、一般ノ藥屋ガ全ク業務ヲ取除ケラル、ト云フモノデハナイ、責任アル藥品ノミヲ之ニ附加ヘタノデゴザイマス以上ハ、何等營業ヲ妨害スルト云フコトデハナカラウト存ジマス、ソレデ此法案ハ全然吾ハ金科玉條ナリトハ見テ居リマセヌガ、免ニ角不正藥品品ヲ改良スルノ一階梯トシテ、本案ノ通過ヲ望ム次第デゴザイマス

(賛成)採決「討論終結」ト呼フ者アリ「賛成々々」ト聲起ル

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ聲モアリマス、採決ヲシマス、磯部君ニ御尋ヲ致シマスガ、磯部君ノ修正ハ三十九條ノ三項四項ニ於テ事實ヲ知ラスシテト云フ此

「事實ヲ知ラスシテ」ト云フコトヲ削除スルト云フノデスカ
○磯部四郎君 サウデス、モウ一ツ附則ノ處ニ……
○議長(杉田定一君) 附則ノ第二項ニ於テ「五箇年以上」ト云フコトヲ削除シテ現在トスル

○磯部四郎君 現ニ藥種商ヲ營ンデ居ル者ハト斯ウナル

○議長(杉田定一君) 採決ヲシマス、磯部君ノ修正ニ付イテ採決ヲシマス、即チ磯部君ノ修正ハ三十九條ニ於テ事實ヲ知ラスシテト云フコトヲ削除スル、ソレカラ此附則ノ第二項ノ「五箇年以上」ヲ削除シテ「現在」ト云フコトニスルト云フノデス、此磯部君ノ修正ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、否決サレマシタ

○福井三郎君 議長

(討論終結ヲ討論終結ト呼フ者アリ發言スル者多シ)

○福井三郎君 討論終結ハ今ノ修正ニ對シテデアリマス、全部ニ對シテハアリマセヌ、磯部君ノ修正ガ議題ニナツタ、ソレニ付イテノ討論終結デアリマス、全部ノ討論終結デアリマセヌ、此場合ニ修正勸諭ヲ出スコトガ出來マス

○議長(杉田定一君) チョット暫ク——只今ノ討論終結ハ磯部君ノ修正ニ付イテ問題ニナツタ、其討論終結ト心得テ居リマス

(福井三郎君登壇)

○福井三郎君 別ニ此處ニ登ッテマデ意見ヲ述ベル必要ハアリマセヌケレドモ、大層ヤカマシクナツタカラ、勢ヒ登ラサルヲ得ヌコトニナリマシタガ、本員ノ修正勸諭ハ斯ウ云フノデス(「短クヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ)極ク短イ「家督相續ニ依リ藥種者ヲ繼承シタルモノニ付テハ先代ノ營業年限ヲ通算ス」斯ウ云フコトヲ附則ノ三項ニ一項加ヘタイ積リ、何故斯クスルカト云ッたらバ五年ト云フコトヲ彼處ニ定メタルハ、五年デナケレバナラヌト云フ別ニ根拠ガアツタ譯デハナイノデセウ、詰リ一ノ勝手ニ拵ヘタダケノ話デアルカラ、程度問題、程度問題デアレバ、ソレヲ五年トスルモ、三年トスルモ何ノ道理ニ背クト云フ堅固ノ反對論者ニ論據ハナイ管デアル、故ニ斯様ナ場合デハ既得權ヲ成ルベク害サナイヤウニ注意シナケレバナラス、故ニ本員ハ之ヲ五年トアルノヲ二年トモシタイケレドモ、ソレモ今磯部君ノ勸諭ニ於テ潰レマシタカラ、本員ハ此修正勸諭ヲ提出シタノデアリマスガ、斯ウ致シマス、相續ニ依ッテ此商賣ヲ繼承シタ者ガ、ヤハリ此中ニ這入ルコトガ出來ルノデアル、是マデヲ取ッテシマフト云フコトハ、此附則ガ事實ニ當欲ラナイ、何トナレバ大抵藥種商ハ——本員ハ藥種屋デナイカラ知ラヌケレドモ、藥種商ハ大抵父子デ遺ッテ居ッテ、モウ親父ガ隱居スレバ其子ガ繼承シテ、ソレデ唯名前デケラ持タズニ、事實ハ其息子ガ商賣ヲスルト云フモノガ澤山アル、サウ云フモノハ總テ是デ除外サレテシマフ、故ニ甚ダ氣ノ毒ダ、既得ノ權ヲ後カラ出來ル法律ヲ奪フト云フ不道理ニナルカラ、ドウカ此修正ニ滿場一致ヲ以テ御賛成アラントラ冀望致シマス

○加瀬禮逸君 議長

○議長(杉田定一君) 福井君ノ修正ニ定規ノ賛成ガアリマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 贊成ガアルト認メマス

○加瀬禮逸君 私ハ唯今ノ福井君ノ修正動議ニ贊成ヲ致スモノデアリマス、ソレデ詳細シク演壇ニ出テ理由ヲ述ベル必要ハアリマセヌガ、一言辯シタウゴザイマス、法律ヲ以テ個人ノ私權ヲ奪フ、制限スルト云フコトハ、別段ハ違憲トカ、違憲トカ云フ問題ニハ相成リマセヌコトハ論ヲ俟タヌコトデアリマス、併ナガラ法律ヲ改正スベキ場合ニアッデハ、其改正法律ヲ施行スル場合ニ於テノ私權ノ尊重ト云フコトノ調和ヲ維持セネバナラスノデアル、而シテ此藥種商營業云々ト云フ此改正案ノ附則ニ於キマシテ、政府案ニ於テモ五箇年以上云々ト云フコトノ文字ヲ入レマシタノハ、ヤハリ此法律施行ノ當時ニ於テ私權ヲ害スルコトヲ避ケヤウト云フ趣意ニ出デタルコトハ云フマデモナイ、私ハ今日ノ委員會ノ經過ハ知リマセヌ、併ナガラ貴族院ニ於テ政府者ノ説明セラレタルコトコロニ於キマシテハ、五箇年以上云々ト云フコトハ、施行ノ際ニ於ケルコトコロノ當業者ニ、急激ナル變動ヲ與ヘザルメデアルト云フコトヲ説明セラレタ、誠ニ其通りデナケレバナラスト思フ、然ラバ單ニ此附則ニ於テ政府案ノ如クニシテ、當業者ノ急激ナル變動ヲ顧慮スルコトガ出來ルカ、斟酌スルコトガ出來ルカト申シマス、此法文ノミニ依ッテハ、政府ノ辯明サル、趣旨ハ徹底致シテ居ラス、是ニ於テ即チ福井君ノ如キ動議ノ已ムヲ得ザル場合ニ至ルノデ、五箇年以上、是モ宜シカラウ、私モ五箇年ノ程度ニ付キマシテハ、即チ先刻御醫者サシノ言ハレタル如ク、不正ノ藥品ヲ取締ルト云フ考ハ同一デゴザイマスガ故ニ、ソレハ暫ク同意ヲ致シマスガ、併ナガラ此五箇年間云々ト云フコトニ付イテ、相續ニ及バヌト云フコトハ、甚ダ不都合ヲ感ズルノデアリマス、此法施行マデ五年營業ヲ爲シテ居ル人ガ、現在生キテ居ル場合ニハ藥種商トシテ商賣ガ出來ルガ、其人ガ昨日死シタメニ、最早藥種商ガ出來ナイト云フコトハ、實ニ法律ノ改正ニ因ル私權ノ損害、當業者ニ急激ナル變動ヲ與ヘルト云フコトハ、言ハズシテ明デアル、故ニ私ハ此點ニ付キマシテハ、政府案ハ多大ノ同情ヲ以テ迎フルト同時ニ、政府ガ此附則ヲ設ケタル趣旨ニ相適ヒマスル意味ニ於テ、此修正案ニ同意ヲ致シマス、願クハ滿場一致ノ御贊成ヲ希望致シマス

〔討論終結〕贊成々々ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 採決致シマス、福井三郎君ノ修正ニ付イテ採決致シマス、福井君ノ修正ハ附則ノ第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘルノデアリマス、「家督相續ニ因リ藥種商營業ヲ繼續シタル者ハ其先代ノ營業年限ヲ通算ス」斯ウ云フ修正デアリマス、此福井君ノ修正ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、福井君ノ修正ハ否決トナリマシタ、全部ニ付イテ採決ヲ致シマス、全部原案ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、本案ハ第二讀會ニ於テ可決トナリマシタ

○恆松隆慶君 直チニ三讀會ヲ開キ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松隆慶君發議ノ通、直チニ三讀會ヲ開イテ確定スルコトニ

御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、第二讀會決議ノ通り御異議ハアリマセヌカ

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案(政府提出貴族院送付) 第三讀會

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ、報告ガアリマス

〔書記朗讀〕

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案

高橋 安爾君 三浦 盛徳君 福岡 精一君

毛里 保太郎君 入江 武一郎君 淺見 竹太郎君

大淵 龍太郎君 三井 忠藏君 花井 卓藏君

一花井卓藏君提出樺太ニ於ケル憲法法律ニ關スル質問ニ對シ寺內陸軍大臣ヨリ武

藤金吉君提出足尾銅山鑛業主ニ對シ鑛毒豫防工事命令ニ關スル質問ニ對シ

松岡農商務大臣ヨリ早速整爾君提出在外軍隊ノ歸還ニ關スル質問ニ對シ寺內

陸軍大臣ヨリ左ノ答辯アリタリ

衆議院議員花井卓藏君提出樺太ニ於ケル憲法法律ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十年三月二十五日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員花井卓藏君提出樺太ニ於ケル憲法法律ニ關スル質問ニ對スル答辯書

南部樺太ハ日露講和條約ノ批准ト共ニ帝國ノ版圖ニ歸シタリト雖同地ノ秩序未ダ整頓セズ且諸般ノ關係調査攻究ノ必要ヨリ軍政廢止後ニ於ケル統治ノ方法ヲ確定スル能ハサリシヲ以テ引續キ軍政ヲ施行シ刑事事件ハ明治二十八年勅令第九十二號ニ依リ設置シタル臨時陸軍軍法會議ノ管割ニ屬セシメ其他取締上必要ノ事項ニ付イテハ總テ軍衙ニ於テ所要ノ規則制定シ内外人ニ對シテ之ヲ適用セリ而シテヤ同地ニ於ケル行政機關ノ組織其ノ他民政ノ施行ニ必要ナル諸般ノ法律制度成レルヲ以テ四月一日ヨリ之ヲ施行シ其ノ施行ト共ニ軍政ヲ廢止セントス右及答辯候也

明治四十年三月二十五日

陸軍大臣寺內正毅

衆議院議員武藤金吉君提出足尾銅山鑛業主ニ對シ鑛毒豫防工事命令ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十年三月二十五日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員武藤金吉君提出足尾銅山鑛毒豫防工事命令ニ關スル質問書ニ對スル答辯書

第一 本山有木坑及小瀧坑ノ坑水ハ平時ニ在テハ其所屬選鑛所ニ送り石灰乳攪拌法ヲ行ヒ砂集池ヲ通過セシメタル後(小瀧坑ニ在テハ實地ノ關係上砂集器ヲ存置スルノ不利ナルヲ認メ明治二十六年七月二十一日付豫防命令ヲ以テ之ヲ撤去セシメタル)之ヲ沈澱池及濾過池ニ導キ又坑水ノ増加セシ場合ニハ其ノ一部分ヲ選鑛用ニ使用シ且平時ヨリ多量ノ石灰乳ヲ混和シテ之ヲ沈澱池及濾過池ニ導キ決シテ根中ニ放流スルカ如キコトナシ而シテ本山有木坑及小瀧坑ニ於ケル坑水ニ對スル掛樋ハ豫テ不時ノ増水ヲ見込ミ之ヲ收容シ得テ餘リアル容積ヲ有スルモノヲ架設シタルヲ以テ不時ノ増水ニ對シテ特ニ掛樋ヲ設ケシメサルモ何等支障ナキハ從來ノ實驗ニ徴シ明ナリトス

第二 選鑛所製鍊所等鑛物ヲ取扱フ場所ニハ雨水等ノ流入ヲ防止スル爲メ總テ屋根溝梁等ヲ設ケシメ居レリ

第三 掛樋ハ總テ堅牢ニシテ腐朽破壊ノ事實ナキノミナラス尙漏洩ノ虞ナキヲ期シ平素嚴密ニ之ヲ監督セリ

第四 上層ノ沈澱池ニハ當初豫防命令第五項ノ通屋根ヲ設ケシメタル然ルニ其後調査ノ結果ニ依レハ沈澱ニ降下スル雨量ハ大雨ノ際ト雖廢水量ニ比シ極メテ微量ニシテ流逸ノ虞ナキノミナラス波瀾池ノ水面ニ雨水ノ降下スルハ却テ波瀾作用ヲ進捗スルモノナルヲ以テ小瀧ニ在テハ波瀾池ノ改築ニ際シテ屋根ヲ廢止セシメ本山ニ在テハ之ヲ撤去セシメタル

第五 豫防命令第六項ノ新設坑水波瀾池ハ明治三十年十一月二十日工事竣成シタルヲ以テ同時ニ舊來ノ坑水波瀾池ハ之ヲ廢止シ爾來專ラ新設ノモノノミヲ使用セリ而シテ該波瀾池ハ明治三十九年七月十六日ノ洪水ニ際シ破壞シタルコトナシ但之ニ附屬スル乾泥池ノ沿岸石垣ノ小部分崩壞シタルコトアルモ乾泥池作業ニハ何等ノ支障ナク而シテ其ノ崩壞部分ハ直チニ修繕了シ決テ乾泥池ヲ放流シタル事實ナシ

第六 豫防命令第八項ハ本山小瀧及通洞ニ於ケル從來ノ選鑛滓堆積場ニ對スルモノニシテ該堆積場ニ付テハ該命令ノ通溝渠ヲ設ケ滲透水ニハ石灰乳攪拌法ヲ行ハシメタル但此等堆積場ハ其後移轉若ハ改築ヲ爲シ目下現存スルモノナシ

第七 泥渣ハ總テ各指定堆積場ニ運搬堆積シ曾テ指定地以外ニ放置シタル事實ナシ而シテ明治三十八年中新製子堆積場ノ擴張ニ際シテ道路ノ附換ヲ爲シ舊道路ヲ堆積場ノ區域内ニ編入シ之ニ廢石泥渣等ヲ堆積スルニ至リタルモ該道路ノ附換ニ付テハ所轄地方廳ノ許可ヲ受ケ又堆積場ノ擴張ニ付テハ所轄鑛山監督署ノ認可ヲ受ケタルモノトス

第八 各泥渣堆積場ニハ豫防命令第十三項ニ依リ堅牢ナル石垣ヲ設ケシメタルヲ

以テ降雨ノ際ト雖モ泥渣流失ノ虞ナシ但該石垣ノ高ハ地形ニ應スヘキモノナルヲ以テ必スシモ一定セス

第九 質問書ニ云ヘルカ如キ事實ヲ認メス

第十 京子内ハ高原木、宇都野及砂形ノ各指定地ニハ豫防命令第十七項及第十八項ニ依リ設備總テ完成セルヲ以テ堆石ノ河川ニ流下スルカ如キ事實ナシ

第十一 土砂及岩石崩壞ノ虞アル箇所ニハ豫防命令第二十二項ニ依リ總テ網狀工及石堰堤ヲ設シメタル

第十二 掛樋ハ相當ノ厚サヲ有スル板材ヲ以テ堅牢ニ之ヲ構成セリ而シテ政府ハ常ニ其監督ヲ嚴シシ破損漏洩ノ虞アル場合ニハ直ニ修繕ヲ施サシメ曾テ之ヲ默過シタルコトナシ

第十三 舊坑ヨリ流出スル坑水ニ對シテハ主トシテ舊坑ヲ現行坑道ニ連絡シテ其坑水ヲ之ニ流下シ然ラサルモノハ坑口ニ杜水裝置ヲ施シテ坑水ノ流出ヲ防止セシメ嚴ニ之ヲ勵行セリ

第十四 豫防命令第三十項ノ成績ニ付テハ政府ハ相當ノ效力アリト認ム而シテ第二十二議會ニ於テ協贊ヲ經タル足尾國有林復舊費ニ係ル事業ニ付テハ其目的ヲ遂行シ得ヘキ見込ナリ

第十五 政府ハ足尾銅山ニ對シテ常ニ嚴重ノ監督ヲ爲シ豫防命令ヲ勵行セリ

第十六 以上各項ニ於テ答辯スルカ如ク政府ハ銳意豫防命令ノ勵行ニ努メ足尾銅山ニ於テモ亦曾テ命令違反ノ廉ナキヲ以テ鑛業ヲ停止スヘキ理由ナシトセス又明治三十九年七月十六日ノ洪水ニ於テ足尾銅山ノ原動力及交通運輸機關ニ多少ノ損害アリタルモ除害設備ニ對シテハ何等ノ支障ナク從テ足尾銅山現業ノ結果トシテ質問書ニ云ヘルカ如キ害毒ヲ下流ノ地方ニ及ホシタルコトナシト認ム

右及答辯候也

明治四十年三月二十五日

農商務大臣松岡康毅

衆議院議員早速整爾君提出在外軍隊ノ歸還ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十年三月二十五日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員早速整爾君提出在外軍隊ノ歸還ニ關スル質問ニ對スル答辯書

滿韓駐節部隊ニ於テハ常ニ流行病ノ豫防ニ努メ居ルハ勿論殊ニ今回發生セル「ペスト」病ニ對シテハ部隊ニ於テ嚴重ノ豫防法ヲ勵行スルカ故ニ軍人軍屬ニシテ未タ同病ニ罹リタルモノナシ而シテ駐節部隊ノ歸還ニ付テハ現ニ似島ニ臨時陸軍檢疫所ヲ開設シ歸還ノ船舶及之ニ搭載ノ人馬物件ニ對シ周密ナル檢疫消毒法ヲ施行シ以テ傳染病豫防上遺算キヲ期セリ

右及答辯候也

明治四十年三月二十五日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員早速整爾君提出在外軍隊ノ歸還ニ關スル質問ニ對スル答辯書

滿韓駐節部隊ニ於テハ常ニ流行病ノ豫防ニ努メ居ルハ勿論殊ニ今回發生セル「ペスト」病ニ對シテハ部隊ニ於テ嚴重ノ豫防法ヲ勵行スルカ故ニ軍人軍屬ニシテ未タ同病ニ罹リタルモノナシ而シテ駐節部隊ノ歸還ニ付テハ現ニ似島ニ臨時陸軍檢疫所ヲ開設シ歸還ノ船舶及之ニ搭載ノ人馬物件ニ對シ周密ナル檢疫消毒法ヲ施行シ以テ傳染病豫防上遺算キヲ期セリ

右及答辯候也

明治四十年三月二十五日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員早速整爾君提出在外軍隊ノ歸還ニ關スル質問ニ對スル答辯書

滿韓駐節部隊ニ於テハ常ニ流行病ノ豫防ニ努メ居ルハ勿論殊ニ今回發生セル「ペスト」病ニ對シテハ部隊ニ於テ嚴重ノ豫防法ヲ勵行スルカ故ニ軍人軍屬ニシテ未タ同病ニ罹リタルモノナシ而シテ駐節部隊ノ歸還ニ付テハ現ニ似島ニ臨時陸軍檢疫所ヲ開設シ歸還ノ船舶及之ニ搭載ノ人馬物件ニ對シ周密ナル檢疫消毒法ヲ施行シ以テ傳染病豫防上遺算キヲ期セリ

右及答辯候也

明治四十年三月二十五日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員早速整爾君提出在外軍隊ノ歸還ニ關スル質問ニ對スル答辯書

本年度ヨリモ調査ヲ始メテ、其調査ノ上耕作地モ善良ニ進ミ、從テ其處ニ出張

レテ居ル、果シテ政府委員ハサウコフ考ヘヲ持ッテ居ルノデアルカ、尙葉數査定ヲ止メテ

宜イト云フ場所ガアルノデアルカ、若シアリトスルナラバ、凡ソ何程位デアッテ、其場所ニ向ッテハ直ニ其葉數査定ノ手數ヲ省クト云フコトニスルヤ否ヤト云フコトノ、即チ政府ノ意見アルトコロヲ確メテ置クコトハ、此場合必要ト思ヒマスカラシテ、先ツ委員長ニ其事實如何ノ點ニ於テ御説明ヲ聞キ、其アトデ政府委員ノ今私ノ御尋ニ對シテ御意見ヲ述ベラレンコトヲ、即チ當議場ニ於テ言明セラレンコトヲ希望致シマス

○福井三郎君 唯今武満君ノ御尋ノ如キコトハ、一々調査ヲ致シタノデアリマス、ケレドモ成ベク報告ヲ簡單ニシヤウト思ヒマシテ、悉クハ申上ゲマセヌノデアリマス、モ、御尋デゴザイマスレバ、其點ヲ簡單ニ擧摺シテ御答ヲ致シマス、成程先達此案ガ議場ニ上リマシタ時分ニ、提出者ノ一人トシテ説明ヲ致シマシタ事柄ハ、政府ハ全部ハ認メマセヌノデアリマス、今日其畑ノ中ニアル煙草ノ葉ヲ査定スルト云フコトニ付イテハ、サウ澤山ノ費用ヲ懸ケテハ居ラナイ、何ゼナレバ株ガ千本アラウト万本アラウト、其中ノ五本ナリ三本ナリノ葉數ヲ算ヘテ、五本ノ株ニ葉ガ何枚附イテ居タカラ、百本デハ幾ラ千本デハ幾ラト云フノ、算盤ノ上デ之ヲ出シテ行クカラ、別ニ手數ト云フモノハ餘リ懸ケナイ、故ニ提出者ノ説明シタ程手數ガ懸カラヌト云フ 説明デゴザイマシテ、故ニ此點ニ付イテハ或ハツコラガ稍、信ゼラレルコトデアラウト云フコトニ委員會ニ於テハ認メマシタ、ツレカラ最モ手數ノ懸ル點ヲ發見シタノハ、先ツ官吏ノ側ノ方カラ申シマスルト、官吏ガ其葉數査定ヲ致シマスルニ、一町歩ニ五人懸リマスル、サウシテ此數ヲ積リマスルト、全國ノ耕作反別ノ三万町歩ニ對シテハ、十五万人ノ人ヲ要スルト云フコトニナル、延日數ニシテ十五万日ニ當リマスル、此一日ノ官吏ノ俸給日割、或ハ旅費ト云フヤウナモノヲ廉ク積ツテ、平均一日一圓ト見マスレバ、是ニ要スル費用ガ十五萬圓掛ルト云フコトニナル、故ニ是ガ損失ナリ手數ナリデゴザイマス、モウ一ツハ葉數査定ヲ致シマスルノニ、始メ御承知ノ通り缺損株ノ居出ト云フモノヲサセルノデアリマス、畑ノ中ニアルトコロノ畝數ヲ勘定シテ、此畝ニ幾株缺損ガアルト云フコトヲ、曆ノ如キ野紙ニ數字ヲ記入サセテ、之ヲ届出ヲサセマス、其届出ヲ受ケルト直グニ官吏ガ出張シテ、煙草ヲ調べルト宜シイガ、而モ其時ガ煙草ノ採收ノ時期デアリマスカラ其時ナラ宜シイ、然ルニ少ナキ官吏ガ多ク事ヲスルガタメニ其要求ノ日ニ直グ參ッテ呉レ、ハ宜シイガ、先ツ例トシテ三日、五日、七日ト後レルノガ普通デゴザイマス、故ニ此五日、三日ト後レル間ニ此期節ハ風雨多キ期節デアリマシテ、煙草ガ立枯レ易ク、又腐敗シ易ク、又蟲ガ付キ易ク傷ミ易イ時期デゴザイマス、此時期ヲ耕作人ハ届出ヲシテ置イテ、官吏ガ査定ニ出テ來ルノヲ待ッテ居ル、實ニ生キナガラ肉ヲ削ラレルヤウナ思フシテ待ッテ居リマス、其間ニ澤山收穫ガ減ッテシマフ、其收穫ノ減ズル高ハドノ位カト云ヘバ、先ツ大ナル事故ガアッテ暴風雨がアタツカ、蟲ガ付イタツカ云フ特殊ノ場合ハ——大キナ場合ニハ殆ド耕作段別ノ約六七割モ減ズルコトガアリマス、故ニ收穫ガ二、三割ニナツテシマフ、常ニサウデハアリマセヌ、是ハ偶ノ例デアリマス、常ニハドノ位カト申シマスルニ、先ツ一割前後、七八分、斯ノ如キ場合デ平均査定ガ後レルガタメニ一割ヲ減ズルト云フコトハ、政府ト雖モ斷ジテ異議ヲ稱ヘラレヌデアラウト信ズル、而シテ此一割ハ金額ドノ位ニ當ルカト申シマスルト、全國ノ煙草ノ總收入高ヲ一千二百一十萬圓ト記憶シテ居リマス、サウスルト其一割デゴザイマスカラ百二十萬圓デゴザイマス、此百二十萬圓ハ査定ノ時期ノ後レルガタメニ減ズル收穫

デ、其百二十萬圓ノ煙草ノ葉ハ價ニ積ツテ幾許カト云ヘバ、煙草專賣所ガ煙草ヲ賣買シタ時分ハ別デアリマスガ、今日製造官業ヲスルトキニ當ッテハ一貫目ニ付イテ、萬事ノ諸掛ヲ引去ッテ官庫ニ收納スル利益ガ一貫目ニ付イテ三圓サウデゴザイマス、サウスルト此百二十萬圓ノ缺損ガ即チ三百六十萬圓ノ金ヲ損失ニナリマス、是ハ明ニ國庫ガ損失スルノデアリマス、ツレカラ小作人ノ方ハドウカト云ヘバ、大抵一貫目——是ハ所ニ依ッテ價ガ違ヒマスカラ、一樣ニハ參リマセヌガ、平均シタナラバ一貫目約一圓位デ政府ガ收納スルノデアラウト思ヒマス、買收價格ガ其位ニ當リハセヌカト存シマス、故ニ之ヲ假リニ本員ノ見ル如ク一貫目一圓トシテ小作人ガ得ルモノトシタナラバ、此百二十萬圓ハ即チ小作人ノ方ニ於テ百二十萬圓ヲ損失致シマスルガ故ニ、此査定ニ付イテ政府ガ正ニ負フベキトコロノ缺損ニ依ッテ出タル損失ガ三百六十萬圓ト、ツレカラ査定ニ要スル人ニ付イテノ十五萬圓ヲ合セマスルト、三百七十五萬圓ノ損失ニナリマス、細カク示セバマダ澤山アリマスガ、先ツコンナモノデゴザイマス（「分ッタク」ト呼フ者アリ）然ラバ即チ政府ガ損失スルノハ是ハカリカト申シマスルト、決シテ是ハカリデハアリマセヌ、此兩方ヲ通ズルトマダアリマスガ、ツレハ措キマシテ（「モウ宜カラウ」ト呼フ者アリ）詳シク説明ヲセイト云フコトデゴザイマスカラ詳シク申シマス（「困ッタナア」ト呼フ者アリ）其畑ノ中ニアル葉ヲ査定スルコトハサウ仰山ニハナイト言フコトデアリマス、或ハ今日ハサウデゴザイマセウ、畑ノ中ヘ査定ヲ終ヘテ査定済ト云フ札ヲ立テラレテ採收ニ掛ッテ、ツレカラ之ヲ乾燥ニ取掛ル、乾燥シテ收納スルマデニ煙草ヲ勘定スルノガ是ハ御承知ノ御方ハ何分血ノ出ル程ノ騒デヤラナレバナラヌト云フノハ、幾百千貫カノ煙草ヲ軸ヲ付ケテ一々乾燥スル、多クハ夜ノ仕事デアッテ、此煙草ニ悉ク軸ガ付イテ居レバ宜シイガ、中ニハ蟲付イテ居ル物ガアル、サウ云フモノハ扱フ度毎ニ缺ケテ仕直シサセマシテ、所ニ依ッテ或ハ六十枚ヲ以テ一把トスル、或ハ三十枚ヲ以テ一把ト定メマシタ所モアリマス、何レモ政府カラ何枚ヲ以テ一把トスルト云フ嚴重ノ規定ノ下ニヤンソト枚數ヲ數ヘテ、ツレヲ括ツテ、サウシテ四五積トカ五六積トカ面倒ナ積方ヲシテ、其包裝ヲ掛ケテサウシテ雪降りノ時分ハ雪ノ中ヲ背負ッテ往ク、ツレヲ向フデ俵ヲ解イテ調ベル時分ニ中カラ三把程ノ束ヲ拔出シテ、サウシテ其枚數ヲ又收納官吏ガ勘定ヲシテ、其一ハ六十枚アリ他ノ一把ハ六十一枚アリ、一把ハ五十八枚アルト云フヤウニ、二把ノ中ノ二把ニ間違ガアツタナラバ、全部ライイナイモノトシテ、是ハ再調査ニナリマス、サウナルト（「モウ分ッタク」ト呼フ者アリ）暫ク御聽キナサイ（「カナハナイ」ト呼ビ又「能ク分ッタク能ク分ッタク」ト呼フ者アリ）分ッタク云フ御方ニ一番分ッテ居ラス、能ク分ッタク云フ御方ガアルナラバ、此方ヨリ質問ニ及シテ、御分リコトヲ聽キタイ位デアル（「謹聽々々」ト呼フ者アリ）ツレデ其收納所ニ持ッテ往ッテ枚數ガ三把ノ内ニ輪足ラヌト、再調査ニナル、其再調査ノ時分ハ其收納所ヘ持ッテ往ッテ煙草ヲ預ケテ置イテ、翌日出テ往ッテ、モウ一遍勘定スレバ宜シイカト云フニサウハ往カナイデアリマス、多クハ煙草收納所ハ耕作地ノ真中ニアッテ、六七里周圍ノ中ニアル、遠イ方ハ收納所ヘ六七里モアリマス、ツレヲ又元ノ如クニ俵ヲ背負ッテ雪ノ中ヲ歸ラナレバナリマセヌ、途中ヘ預ケルコトモ出來マセヌ、前ニ通ッタルトコロノ外ノ道ヲ通ッテ歸ル譯ニモ往キマセヌ、往來モヤンソト極ッテ居ル、實ニ嚴重ノ規定ガアリマス、之ニ背ケバ罰セラレマス、何故ニサウ云フコトヲスルカト云ヘバ、其間ニ間違ガ生ジテハナラヌ

○政府委員濱口雄幸君登壇

○政府委員(濱口雄幸君) 武滿君ノ御要求ニ依リマシテ、政府が委員會ニ於テ陳述シタトコロ極メテ簡單ニ明言シテ置キマス、現時ノ狀況ニ照シマシテ、葉數査定ヲ廢シテ量目査定ノ一法ヲ採ルト云フコトハ、專賣法ノ基礎ヲ危クスル惧アリト認メマスルガ故ニ、政府ハ法律改正案ニ同意ハ出來マセヌ、併ナガラ土地ノ狀況、耕作者ノ風紀竝ニ當該官吏ノ熟練ノ如何ニ依リマシテ、若シモ量目査定ニシマシテモ、犯則ノ惧ガ万ナクイト云フ見込ガ確ニナクテ處ガアリマシタナラバ、葉數査定ヲ廢シテ量目査定ヲ採リマス(武滿義雄君「アリマシタナラバハイカヌアリマスカ」ト呼フ)是カラ言フ——若シサウ云フコトガ時機ガ早イト認メマシタナラバ、是ヲ行ハナイト云フニ過ギマセヌ、而シテコレニ該當スル場所ガ今日アルカナイカ、若シアルナラバ何處々アルカト云フコトハ、是ヨリ調査ノ上デナイト明言ハ出來マセヌ(武滿義雄君「アル見込デゴザイマスカ」ト呼フ)調ベテ見ナケレバ分リマセヌ

○福井三郎君 本員モ政府委員ニ一言質問致シマス、政府ノ委員會ニ於テ御答ハ、今少シ勇マシカッタノデアリマスルガ、演壇ニ於テ唯今御述ベニナルコロハ、大分割引ニナクヤウナコトデゴザイマスガ、全體此葉數査定ト云フモノヲ本意トシテ、何時マデモ永久ニ行フ積リデハナイ、故ニ何時デモ確實ニシテ簡便ナル違犯ノ防禦方法ヲ發見シタナラバ、躊躇セズ何時デモ御話ニ同意スル、改正ニ同意スルト明言セラレタコトハ、此處ニ委員會ノ速記録ヲ携ヘテ參テ居リマスガ、是ハ其通り御認メニナテ居ルヤ否ヤ、一言明言ヲ願ヒタイ

○政府委員濱口雄幸君登壇

○政府委員(濱口雄幸君) 御答ヲ致シマス、固ヨリ唯今福井君ノ御話ノ如ク申シマシタ、其事ハ武滿君ノ御要求ガアリマセヌカラ、私カラ申述ベマセヌ、確ニ申シマシタ

○福井三郎君 満足デス

○採決々々ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、是ハ委員長ノ報告ハ否決ニナテ居リマスルガ、原案ニ付イテ採決ヲ致シマス、本案ノ一讀會ヲ開クベシトスル 諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 無

○議長(杉田定一君) 一人ノ起立者モアリマセヌ、デ本案ハ廢案トナリマシタ——日程第八市場法案、第一讀會ノ續 チヨット此日程ニ第一讀會ノ續ト云フコトガ落チテ居リマスルガ、是ハ誤脫デアリマスル、訂正ヲシテ置キマス、委員長立川雲平君報告

第八 市場法案(川島瀧藏君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

(立川雲平君登壇)

○立川雲平君 諸君ニ市場法案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ前後數回開キマシテ、其中二回程ハ政府委員及各委員ハ各條ニ關係致シマスルカラシテ、速記録ヲ廢シマシテ、協議ニ致シマシテ審査ヲ致シマシタ、最終ノ逐條審議ノ際ニ是非速記ヲ致シタイト思ヒマシテ、書記官ノ方ヘ請求致シマシタケドモ、生憎

ト云フ注意ノタメデアリマス、是モ本員等ハ査定ガアル以上ハマルデ無理トハ申シマセヌガ、サウ云フコトヲスルガタメニ百煙ガ之ニ掛ル手數ハドウデアアルカト云ヘバ、小作人ノ之ニ掛ル手數ハ一町歩ノ畑カラ收穫シタ煙草ノ葉ヲ勘定スルニ約百人掛ルト見タラバ、大差ハナカラウト思ヒマス、ソレナラバ全國ノ三万町歩ニ對シマシテハ三百萬人ニナリマス、ソレトモ二千万人デヤツカ知レヌ、ナカ——數ノ仕切レヌ程ニナル、是ハ計算ニ明ルイ諸君ニハ直グニ御分リデアリマセウ、此三百萬人ノ人夫ヲ費ス、ソレヲ廉ク積ッテ一人三十錢ト見マスルト、ザツト百万圓近クニナル、是ハ全部査定スルタメデアリマス、マイガ、半バ査定ノタメニ無駄ノ費用ガ掛ルモノト勘定シテモ五十万ニモナリマス、彼此レ通算シマスルト政府ト小作人トノ間ニ於テ損失ヲスル高ハ約五百四十万程ニナリハセヌカト思ヒマス、是ガ即チ葉數査定ノタメニ煩苛ナル手數ト、ソレカラ此上ニ要スル莫大ナル費用デゴザイマス、武滿君ノ御問ニハ之ヲ以テ御答ヲシテ置キマス、而シテマダ御答スベキ點ガアリマス、ソレカラ武滿君ノ御問ノ中ニ、何ニ依ッテ國庫ガ損失ヲスル額ヲ調ベタカト云フ御問ガアリマシタ、是モ政府ニ問ハウト存ジマシタガ、委員會中ニ言出ス人モゴザイマセズ、其處マデハ能ウ問ヒマセヌデゴザイマシタガ、併ナガラ言葉ノ端々ニ依ッテ推測スルト、大分澤山違犯ガアルト言ハレルガ、思フニ之ヲ金額ニ積リマシタラバ、違犯ニ依ッテ國庫ノ損失スル高ハ十萬圓ヲ越シハスマイト考ヘル、是ハ私一個ノ推測デアアルカラ、間違ッタラ政府委員カラ辯駁ヲ願ヒマス、若シモト餘計アツテモ二十萬圓ソコラノコトデアアル、假リニ國庫ガ二十萬圓損失スルトシテモ、一方ニ其害ヲ防グタメニ五百萬圓以上モ官民併セテ損ヲスルコトデ、所謂浪費ト手數ヲ以テ犯則ヲ防グ得タル效果トハ相償ヒ得ヌ話ニナッテ居リマス、ソコデ結論トシテ御答致シテ置クノハ、ソレノ如クニ明ニ分ッテ居ッテ、無用ノコトデアアルカラ、寧ろ犯則ハシ放題ニシタ方が増シヤアルマイカ、シ放題ニシテ置イテモ二十萬圓ノ損失デ濟ムデヤナイカ、ソレフヤカマシク云ウテ五百萬圓ノ損ニナッテ、得失相償ハヌカラ、コセツカズニ其儘ニシテ置イタガ宜イト云フ論モアルガ、ソレニモ拘ラズ政府ハ同意セズ、從テ委員會ガ同意ヲ拂ハサル政府ニ同意ヲ表シテ、假スニ一年ノ時期ヲ以テシタハドウカト云ヘバ、兎ニ角政府ハ其如クニ數ハ認メテ居ラスガ、煩雜ナモノデアツテ、耕作人ガ苦シムモノデアアルカラ、永久ノ方法トハ認メテ居ラス、何時カ良イ方法ヲ見出シテ更ヘタイト云フ所存デアアル、急カズトモ早晚理想ノ時機ニ達スルガ、其間ニ指定地ト指定人ヲ捨ヘテ免除シテ往クト云フコトニナレバ、某地ノ某人ハ善良ノ習慣ガアルト云フノ免除セラレルト、名譽ノ耕作地、名譽ノ耕作人ニナッテ、却テ葉數査定ヲ受ケルモノハ礼付ノ惡ルイコトヲスルモノト云ハレルヤウニナッテ、勢ヒ進ンデ善良ノ耕作地、耕作人ヲ獎勵スル一ニナルト云フコトハ同感デアアル、故ニ本年ヨリ著々取調ヲシテ、善良ノ習慣ヲ養成シタルト同時ニ、熟練ナル官吏ノ立揃ウテ居ルト云フ處ニ限リ、段々此査定ノナイヤウニシテ往キマシテ、遂ニ是ナカラシムルト云フコトガ、ヤハリ冀望デゴザイマス、此點ニ於テハ少シモ躊躇シナイ、又ソレヨリ前ニ良イ法ガアツテ、簡便ニシテ確實デアルト云フコト、違犯ヲ防グル方法ガアツタラバ、何時ニテモ改正ニ同意スルコトニ躊躇シナイト云フコトデゴザイマス、是ハ御答致シマス以上ハ、政府委員ノ御答ニ讓リマス

刑法改正案ニ付キマシテ兩院協議會、其他澤山ノ委員會ガアリマシタガタメニ、速記者ガ問ニ合ヒマセヌ、已ムラ得ズ速記ヲ致サズニ結果ヲ結ビマシタ次第デゴザイマス、此事ヲ申上テテ置キマス、此市場法案、即チ此川島藩藏君ノ提出ニナリマシタ案ニ付キマシテ、先ツ政府委員ノ意見ヲ聽キマシタ、今日ノ場合ニアデ市場法ヲ制定スルコトガ必要アルカ、如何デアアル、要スルニ市場法ノ制定ハ必要ト認ムルカ、ドウデアアルカト云フコトヲ政府委員ニ聽キマシタコトコガ、政府委員ノ答ハ、勿論ハ必要デアアル、目下各種ノ材料ヲ蒐集致シテ研究中ニ係リテ居ル、未ダ或案ヲ以テ議會ニ問フノ機會ニハ及シテ居リマセヌケレドモ、此市場法ナルモノガゴザイマセヌタメニ、各種ノ市場ノ制度ガ一致致シマセヌ、又取締モ附キマセヌガタメニ、不都合ノミナラズ、我國ノ生産事業、商業ノ上ニ於テモ頗ル不利益デアアルト、斯ウ云フ意見デゴザイマシタ、提出者ハ勿論提出ノ場合此演壇ニ於キマシテ諸君ニ審ニ申サレタル如ク、抑、此案ハ二十年モ後レテ居ル、モウ少シ速ニ此案ハ制定シテ置カネバナラヌモノデアアルト云フコトヲ親切ニ述ベラレタルコトデ、繰返シテ委員會ニ於テモ主張セラレタデゴザイマス、ソレハ一二ノ理由ヲ申シマスルト云フト、小サナモノデアアルナラバ野菜デアアルトカ、魚鳥デアアルト云フヤウナ、人生此日用ニ必要ナル品物ニ付キマシテモ定マリマシタルコトコノ市場ガゴザイマセヌタメニ、誠ニ不便ヲ感ズルハ勿論ノコト、又大キナ品物ニ付キマシテ考ヘマスルト、我國ノ輸出品中ニ最モ重キヲ爲シテ居ル彼ノ羽ニ重デゴザイマスルトカ、花菱デゴザイマスルトカ、是等ノ品物モ極リマシタルコトコノ市場ノ制度ガゴザイマセヌタメニ、我製造者ガ不利益ヲシテ、サウシテ外人ガ私利ヲ壟斷シテ居ルト云フヤウナ始末ガ屢アルデゴザイマス、故ニ委員會ニ於テハ先ツ此現行ニ於テ市場ト云フモノニ付イテハ何カ制度ガアルノデアラウカト云フコトヲモ、取調ベテ見マシタルコトコガ、今日現行ノ制度ニ於キマシテハ市場ト云フモノハ僅ニ米又ハ有價證券ヲ取引スル市場ニ關シテ單行ノ農商務省ノ省令ガ一ツアルノミ、是ハ明治二十九年デアリマシタ、二十六年ニ取引所法ガ施行サレマシテ其後現物、此米又ハ有價證券ノ取引ハドウシテモ一定ノ法律ノ下ニ支配セネバナラヌト云フタメニ、僅ニ農商務省ガ一ツノ省令ヲ發シテ始末シテ居ルノミ、其他何等ノ規定モゴザイマセヌ、先進國ノ市場ニ關シマスルコトコノ制度慣行等ヲ調査致シマスルナラバ、我國ノソレ程進シテ居ナイ亂雜ナルモノハナイト云フ始末デアアルデアリマス、斯様ナ議論ガ起リマシタ結果、内容各條ニ於テハ多少ノ意見モゴザイマスルカ、免モ角モ此市場法ト云フモノヲ今日ニ於テ制定スルノ必要アリト考ヘマシテ、サウシテ委員ハ一致ヲ致シマシテ原案ヲ採用シテ更ニ各條ニ就イテ審議スルト云フコトニナリマシタデアリマス、各條ノ修正ハ御手許ニ同シマシタル如ク殆ド各條ニ於テ修正セラレザルモノハ至ッ少ナイ位デゴザイマス、之ニ付イテ一々申上ケマスルト云フト時間モ取リマスシ、否ナ、ウルサウゴザイマスルカラ原案ト修正案トニ於テ、即チ修正セラレタル二要素ヲ申上ケヤウト思フ、三ノ要素ノ趣意ヲ——修正致シマシテ之ニ當徴ルヤウニ法律文ヲ一條ヨリ三十三條マデ編出シタルデゴザイマスルカラ、其要點ヲ申上ケヤウト思フノデス、原案ハ即チ此川島案ニ據リマスルト云フト、魚鳥家畜ト獸肉ト青物ト此四ツノ種類ニ付テ市場法ヲ制定スルト云フノ趣意デアッタデアリマス、併ナガラ之ニ付イテいろ／＼相談ヲ致シマシタ結

果、青物家畜ハ魚鳥勿論、此家畜ナド獸肉牛肉ノ如キニ至リマシテモ市場法ヲ制定シテ市場ヲ整頓致シマセヌト云フト、頗ル不便デアハゴザイマセケレドモ、此四種類——四ツノ種類ノタメニ市場法ト云フモノヲ帝國一般ノ法律トシテ置ク程ノ必要ガアルデアラウカ、ドウデアアルカト云フコトヲ審查致シマシタルコトコガ、所謂此市場法ト云フ法律ヲ拵ヘテ僅ニ此四種類ヲ支配スル位デハ餘リニ大業過ギル、所謂牛刀ヲ以テ鶏ヲ割クト云フヤウナ場合デアアラウ、又況ヤ若シ此四種類ノモノデアアルナラバ、更ニ此市場法ト云フモノヲ以テ致サナクテモ、是マデノ取締法ニ於テモ餘リ取締ルコトノ出來ナイ程ノコトデモナイト云フ議論モゴザイマシタ、是ニ於テカ、今ノ此法案ヲ提出サレタルコトコノ川島君ナリ、政府委員ナリガ主張スルコトコノ據ルト、今市場法ヲ請求スル——市場法ヲ必要トスル所以ノモノハ、小ハ日用ノ野菜、魚鳥ヨリ大ハ輸出品ニマデ及ブト云フコトデアリマスカラシテ、之ハヤハリ此四ツノ種類ニ限ラヌノガ宜カラウト云フコトニ相成リマシタ、限ラヌ方ガ宜カラウトスルナラバ、此原案ノ第一條即チ「本法ニ於テ市場ト稱スルハ魚鳥家畜獸肉青物市場ヲ謂フ」ト云フ此第一條ヲ削リテシマフ必要ガ生ジマシタ、故ニ原案ノ第一條ハ削除致シマシタ、是レ即チ其種類ノ範圍ヲ廣ウスルガタメデアリマス、是ガ即チ第一ノ修正ノ趣意、第二ノ修正ノ趣意ハ、市場法ノ此支配ノ範圍ヲ定ムル點ニ於テドウ致サウ、前ニモ申シマスル通り青物魚鳥ヨリ輸出品或ハ大ナルコトコノ品物ニマデ及ブト致シマスルナラバ、此種類ハ——此種類ヲ包含スルト致シマスルナラバ、此市場ト云フモノハ、何デモ先ツチヨット言ヒマスルナラバ、勸工場ノヤウナモノデモゴザイマセウ、或ハ二三人ガ寄デ取引スルモノデモ、即チ此所謂買賣スルト云フ場所ヲ總テ此市場法デ包含シマシマフト云フコトニスルカ、ドウデアアルカ、是ガ一ツノ問題トナリマシタ、是ハヤハリ市場デゴザイマスルカラ市場ト申シマスル以上ハ、製造業者、ソレカラ仲立人等ヲ眼中ニ指イテ、此現物ヲ現ニ授受スルコトコノ市場ニスル方ガ宜カラウ、素人ガ這入ッテ來ル彼ノ勸工場ノ如キモノヲ目的トセズニ、素人ノ這入ッテ來テ買フコトモ出來ルケレドモ、ソレヲ法律ノ主眼トセズシテ、所謂製造者ト仲立人トノ取引ニスル方ガ宜カラウト、斯ウ云フコトガ起リマシタガタメニ、然ラバ此法律ノ上ニ市場ト云フモノ、定義ヲ定メテ置ク必要ガアラウト、斯ウ云フ議論ガ起リマシタ、ソレデアレナラバ市場ト云フモノハ如何ナルモノヲ指スカト云フコトノ審議ヲ致シマシタ結果、市場ト云フノハ當業者ガ相集、デ一種又ハ數種ノ物件ヲ買賣スル一定ノ場所、即チ是レ市場デアアルト云フコトニ定メラレタ、故ニ此修正案ノ第一條ハ是ヨリ生ジマシタルデアリマス、ソレデ原案ノ第一條ヲ削除シテ修正案ノ第一條ヲ當徴メマスルト、市場ノ定義ハ定リマシタガ、此種類ノ選擇種類ノ指示ハ——指示ス即チ指定スルハ何人ヲ指スカ豫メ法律ヲ以テ指定シテ置クカ、若クハ勸令ヲ以テ漸ブ逐テ定ムル方ガ宜カラウト云フコトニナリマシタ、是ハ勸令ヲ以テ漸ブ逐テ定ムル方ガ宜カラウト云フコトニナリマシタ、是レ即チ修正案ニ此末項ヲ如ヘタル所以デアリマス、市場法ノ支配ノ範圍種類ニ關スル修正、ソレカラ第二ニ是デ修正ノ趣意ガ申盡スコトガ出來ヤウト思フデアリマス、原案ノ趣旨ハ主務官廳ニ依ッテ認可權ヲ持ッ、即チ此中央政府ニ於テ市場ノ免許權ヲ持ッコトニシテゴザイマス、所ガ前申シマス通り至ッテ簡易ナモノモゴザイマス、青物魚鳥ノ如キモノモゴザイマス、之ヲ

モ必ズ中央政府即チ主務官廳カラ認可ヲスル 免許ヲスル ト云フコトニナッテハ甚ダオク
ウ過ギル譯デアラウ、是等ハ地方廳ニ委ヌルコトガ出來ルヤウニシタ方ガ宜カラウト云フ
デ、然ラバ行政官廳ト極メテ置ク方ガ宜カラウト云フ 相談カラ之ヲ行政官廳ト極メ
マシタ、即チ原案ニ主務官廳トアルモノハ悉ク行政官廳ト變リマシタ次第デゴザイ
ス、此外ニ罰金ノ盛リ方若クハ物件ノ検査ヲスルコトノ準備ヲ命令シナケレバナラヌコ
ト、又字句ノ修正等ガゴザイマス、是等ハモウ案其モノガ明ニ説明シテ居リマスカラ、
御覽ノ通デゴザイマス、附加ヘテ置キタイノハ原案施行期日ハ明治四十年四月一日ト
ゴザイマスケレドモ、到底直チニ此案ガ施行セラル、トモ思ヘナイシ、又之ヲ施行スルニ付
イテ相當ノ勅令等ガ必要デアリマスカラ、此施行期日ハ勅令ニ讓ツタ方ガ宜カラウト云
フノデ、勅令ニ讓リマシタ、又法人ガ此規則ニ違犯シタモノハ罰スルコト、其法律規
則ノ批准モ是非トモナケレバナラヌモノハ、他ノ法律ト照シ合セテカラト云フ一條目ガ加
テ居リマスノデアリマス、是デ以テ完壁ト云フコトハ出來マセヌカモ 知レマセヌカ、先ヅ市
場法トシテ、前後貫通致シマシテ、三十三條ヲ以テ制定セラル、コトニナリマシタ、今日ノ
場合私ノ報告ハ是デ止メルガ適當ト信ジマス、若シ此質問ガゴザイマスレバ御答シテモ宜
シウゴザイマス

○加瀬禰逸君 委員長ニ質問致シタイ、唯今修正セラレタル趣旨ヲ御辯明ニナリマシ
タ中ニ、主務大臣ト云フコトヲ改メテ行政官廳トシタ斯ウ、云フコトノ御説明デアリマシ
タガ、行政官廳ト云ウテハ甚ダ廣キニ互テ居ル、此行政官廳ト云フ 法文ノ意味ハ地方
廳ヲ指スノデアルカ、或ハ其以下市町村役場ヲ指スノデアルカ

○立川雲平君 此案ヲ拵ヘマシタ趣意ハ地方廳及中央政府皆包含シテ居ル積リデア
リマス

○加瀬禰逸君 此行政官廳ト云フ意味ハ……

○立川雲平君 行政官廳ト云フ意味ハ地方廳モ包含シテ居ル

○加瀬禰逸君 イ、エ、小サイ處モ包含スルノデアリマス、警察ノ如キモノ、市町村
役場ノ如キモノモ包含スルコトニナリマス

○立川雲平君 サウ云フコトハ別ニ委員會アハ議論ハゴザイマセヌデシタガ、私共サウハ
信ジテ居リマセヌ

○加瀬禰逸君 委員長ノ報告ノ趣旨ハ此行政官廳ト云フノハ主務大臣ト云ウテハ
大袈裟ニナル、ソレデ地方官廳ト云フ意味ニ用井タト云フコトニ聞キマシタガ……

○立川雲平君 イヤ、サウデナイ、地方官廳ヲモ包含スルタメニ用井タノデ、ソレデアリマ
スカラ場合ニ依ッテハ勅令デソレ等ヲ定ムル積リデアリマス

(齋藤圭次君登壇)

○齋藤圭次君 不幸ニシテ私ハ本案ニ反對ヲ致ス次第デゴザイマス、極ク簡單ニ申上
ゲマスル、一體此法案ヲ提出者タル川島氏ヨリ提出致サレマシタルコトノ同氏ノ案ノ
趣旨ト云フモノト、今茲ニ委員長ヨリ報告致サレマシタル案トハ、非常ナル懸隔ヲ生ジタ
モノニナリマシタ、是レ即チ私が一ツ直チニ贊成ノシ兼ネルコトデアル、而シテ又此ノ如ク市
場法ト云フモノハ立派ナモノニ成ッテ、通ジテ三十三條アルガ、此罰則ノ如キモ千圓マデ

ノ罰金ヲ——過怠金ヲ科スルコトガ出來ルト云フ如キ嚴格ナル法律ヲ編ムニ當リマシテ
ハ、舊來ノ慣行其他ノコトヲ餘程綿密ニ御取調ノ上テ制定スルガ必要デアルト思フ、
成程委員諸君ガ實ニ御熱心ニ前後數回モ調査ヲ致サレタ、其勞ハ實ニ多ト致シマス
ル、併ナガラ不幸ニ致シマシテ唯一回ノ大體ニ於ケル速記録ガアルケデ、其他ノ委員
會ノ速記録ト云フモノハ一ツモナイノデアリマス、故ニ此委員會ガ如何ナル點マデ調査
シ、如何ナル點マデ論究シテアッタト云フコトハ、吾々ノ知ルコトガ出來ナイノデアル、而シ
テ本案ガ吾々ノ手ニ移リマシタノハ本日登壇ヲシテ初メテ文書箱ニ依ッテ吾々ハ此案ニ
接シタ次第、即チ案ノ内容タル立法ノ精神ト云フモノニ至ッテハ、一モ窺フコトガ出來ナ
イノデアル、是モ前提出者川島氏ノ明記シテアルガ如ク魚鳥若クハ家禽獸肉青物ト云
フコトニシマスレバ、是ハ指示シテアリマスガ、併ナガラ今回ノ修正ニ於テハ總テ物件ヲ
取引スルモノヲ以テ、之ヲ市場ト謂フト云フ、而シテ有價證券ノ如キ物モ之ヲ含ムト
云フコトニナリマスレバ、實ニ容易ナラヌ問題ニナルノデ、故ニ私ハ此ノ如キ大ナル意
味ニ於テ修正スルニ付イテハ、能ク案ノ内容ヲ承知シテ初メテ贊否ヲ表サナケレバナラヌ
モノデアルト思フ、此ノ如ク委員會ノ經過ヲ知ルニ途ナク、又趣意ヲ十分ニ盡スコトノ
出來ナイニ於テハ、是ガ一ツ贊否ノ出來ザル所以ニナルノデアル、ソレカラ第二ノモノハ
市場ヲ設立セントスルモノハ行政官廳ニ出願ヲシテ公許ヲ受クベシトアル、是ガ抑々將來
ニ於テ如何ナルコトニナルデアラウカ、此案ヲ見マスト設置スベキ者ノ資格等ニ於テハ何
等モナイ、即チ出願ヲスベキモノハドウ云フ性質ノ者ガ出來ルト云フコトガ規定シテアルケ
レドモ、舊來市場ニ關係ヲ致シテ此當事者トナッタモノハ當然是ハ先ヅ出願權ヲ持タナケ
レバナラヌモノト吾々ハ信ジテ居ル、成程附則ニ此法律ヲ施行シテ二年間ハ前ノ許可ヲ
得テ居ルモノノガ、ソレヲ續ク、其三年ノ内ニ續ケナケレバ免ズルト云フコトニナッテ居ル、
而シテ尙二年ノ後ニ至レバ幾多ノ出願者ガ競争見タヤウニナッテ來タ時分ニハ、之ヲ行
政官廳ノ意ノアル所ニ依ッテ許可スルト云フ話デアル、果シテ然ラバ此事タルヤ將來ニ於
テ又近キニ於テモ一定ノ場所ニ市場ヲ設置セントスル者ニ至レバ、非常ナル競争ヲ生ズ
ルト云フ憂ガ起ラウト思フノミナラズ、當事者ガソレヲ受クベキ權利ガアルト云フコトモ規
定シテナイニ至ッテハ、完全ナモノト認ムルコトガ出來ナイノデアリマス、是ガ第二デゴザイマ
ス、而シテ又此法律ヲ今茲ニ委員會諸君ガ打角ノ御勞ヲ以テ御報告下スツタノハ誠ニ謝
スルガ、併シ此問題ハ直チニ施行シナケレバナラヌト云フ、非常ニ急場ニ迫ッテ居ルカト
云ヘバ、委員長モ言ハレタ如ク今日ノ現況ニ於テヤリツ、アルモノハ、先ヅ今迄ノ取締
法デ略ニ合フデアラウ、今後輸出品ノ如キ物ニ向ッテ實行スルガ必要ナリト云フ意見
デアッテ、即チ農商務省ガ今日マデ市場法ニ就イテアレバアル方ガ宜カラウト思フガ、マデ
成案ガナイ、議會ノ協賛ヲ求メル程調ベタモノガナイ、先進國ニハ種々ノ方法ハアルケレド
モ、先進國ノ法デアルカラト云ッテ、直チニ我國ニ用井ルコトハ出來ナイ、舊來ノ慣例慣
行ヲ調ベタコトデナケレバ、之ヲ出スコトガ出來ナイト、政府委員ノ説明デアッタガ、果シ
テソレ等ノ理由デゴザイマセウ、此附則ヲ見テ此法律ヲ極メテモ、地方ノ狀況ニ依ッテ
區域ヲ限リ適用セザルコトヲ得ト定メテ居ッテ、施行スルノハ勅令ニ據ルト云フ如キ最初
ハエライ嚴格ニ出來テ居ルガ、附則ニナッテ見ルト其趣意ガ誠ニ輕クナッテ來テ、地方ニ

依テハ行ハナクモ宜イ、又施行ノ期日モ勅令ヲ以テ定メルト云フガ如クニ定メタル、是等ノ考ヘカラ見マシテモ失禮ナガラ此案ガ未ダ完無全缺ノモノデアルト云フコトヲ認メルコトハ出來ナイノデアデ、而シテ殊ニ此會期ハ切迫致シテ、餘ストコロ二日デアル、是ガ果シテ貴族院ニ於テ通過シテ法律トナルデアラウカハ、甚ダ遺憾ナガラ疑ハザルヲ得ナイヤウナ状態デアル、然ラバ此處ニ之ヲ議決シテ、衆議院ノ意思ヲ發表シテ、而シテ來年マデ唯置クヨリモ、寧ロ此案ハ須ラク攻究ヲ致シテ完全ナモノトスルコトノ猶豫ヲ與ヘルガ相當デアラウト思ヒマス、又天下ノ當事者ガ一度是ガ免ニ角衆議院デ議決シタラバ如何デアリセウカ、此ノ如キ嚴格ナルモノガ出來ルト致シマスレバ、地方ノ小サナル市場、所謂瓜ヤ茄子ナド僅カ一日ノ取引ヲ五十圓カ三十圓ヤテ居ルガ如キ市場ハ、如何ナル疑懼心如何ナル恐慌ヲ來ステゴザイマセウカ、實ニ是ハ容易ナラヌ當事者ニ對シテ疑懼心ヲ起サセルノデアル、而シテ川島君ノ言ハレル趣意ハ、此市場法ナルモノハ生産ノ發達ト、衛生上ト取締ト二ツノ必要ヲ認メテ居ルモノデアルト云フ、併ナガラ私ノ見ルトコロデハ如何ナル市場ト雖モ發達ト、衛生上ト取締トハ小サナルモノモ必要デアル、然ルニ本案ノ附則ニ於テ之ヲ行ハナイ所ガアルトスレバ、行ハナイ所ハ衛生上モ取締モ發達モ望マナクテ宜シノデアルカ、左様ナコトハ誠ニ不完全ナ法律ト言ハナケレバナヌ、即チ天下到ル所行テ、天下到ル所ノ市場一律ノ下ニ之ヲ規定スルコトノ簡便ナモノガ出來得ラレルモノデアラウト私ハ信ズルノデアル、故ニ是等ノコトヲ十分ニナシテ、當事者ニ疑懼心ヲ起サシメズ、所謂目的タル生産ノ發達、衛生、取締、此三點ヲスカリ全國ノ市場ニ行渡ラシメヤウトスルナラバ、何モサウ急グニ及バヌ、施行期日ハ勅令ヲ以テスルト、安閑ニ定メタル本案デアレバ、明年ヲ期シテ之ヲシテモ遅クナイノデアリマスカラ、甚ダ遺憾ナガラ本員ハ茲ニ否決ヲ致シマス希望デアデ、之ヲ當節ノ言葉デ云ヘバ善意ノ否決ヲ希望スルモノデアルノデゴザイマス

○立川雲平君 私ハ一委員トシテ簡單ニ原案ニ贊成ノ意見ヲ述ベタイト思フ、其處ヘ往キマセウカ

(「登壇々々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 登壇ヲ……

(立川雲平君登壇)

○立川雲平君 齋藤君ノ反對ノ意見ガアリマシタカラ、之ニ簡單ニ酬ヒテ置カウト思ヒマス、第一ニ此川島君ノ案ハ小サナ案デアツトニ、修正案ガ大層大キクナツタ、是レ即チ如何ト思フ一デアルト云フノデスガ、如何ト思フ一デアルト云フコトハ、反對ノ理由ニハナリマセヌ、是ハモウ疑フ置クニ及ヒマセヌ、川島君ノ市場法案ト云フ法案ヲ委員會デ審査攻究ヲ致スノデアリマスカラ、此市場法案ヲ委員會デ審査シテ修正シマスノニ、大キクナツテモ小サクナツテモツレハ一向差支ナイト思ヒマス、唯私ノ甚ダ遺憾ニ思ヒマスノハ速記録ノコトデゴザイマス、先刻申シマシタ通り此頃ハ委員會ガ多ウゴザイマシテ、一昨日はガ終局ノトキデゴザイマシタ、給仕或ハ書記ヲヤリマシテモ間ニ合ヒマセヌ、ソコデ委員長タル私が再三再四委員課ノ書記官ニ交渉ヲ致シマシタケレドモ、到底其日ニハ速記者ガ間ニ合ヒマセヌ、別ニ審査委員會ニ於テ言ウタコトヲ皆様ニ御吹聴スルコトモナカラウト

云フ委員諸君ノ御相談モゴザイマシタカラ、速記録ナクシテ濟マシタ、是ハ十分御研究ヲ願ヒマシテ御疑ノ點ガアルナラバ、先刻申シマシタ通り御質問下サイマシタナラバ、アリシ事實ヲ決シテ蔽フコトハゴザイマセヌ、記憶シテ居リマスダケノコトハ十分御答ヲシヤウト申シタノデゴザイマス、ソレカラ第二ノ齋藤君ノ反對意見ニ之ヲ設立スルモノガ免許ヲ請フニ付イテ資格ハドウカト云フコトデゴザイマシタ、ソレハ當業者相集リニ云ツト云フコトモゴザイマスシ、又行政廳ニ於キマシテ、イザレニ對スルコトコロノ資格等ハ定ムルコトガ出來ヤウト思ヒマスカラ、是ハ此法律ニ置カヌデモ宜シイト云フ考デス、是ハ外ニモ幾ラモアリマス、斯ウ云フ例ガアツト云フコトハ、チヨット今思付キマセヌガ、行政廳ニ委シテ置クコトハ差支ナイト云フ考デス、第三ノ是ハ或ハ地方ニ依テハ行ハナクモ宜イ、又勅令ヲ以テ施行期日ヲ定ムル以上ハ左程急ガヌデナイイカト云フ御話モゴザイマシタ、甚シキニ至テハ法律ナルモノハ天下一般一日之ヲ發布スルナラバ、一日カラ津々浦々何處ニ至テモ之ヲ知ラネバナラヌト云フコトヲ申サレマシタガ、成程ソレハサウデゴザイマセウ、一般ノ刑法トカ或ハ民法トカ云フモノハ、サウ云フコトガ必要デゴザイマセウケレドモ、斯様な取締法即チ市場法ト云フモノニ於キマシテハ、或ル場合ニハ十分之ヲ以テ往テ行フコトノ出來ヌ事情ガ必ズ實際ノ上ニアラウト思ヒマスカラ、斯ウ云フ法モ亦他ニ類例ガゴザイマスデ、此法ハ法律トシテハ定ムルケレドモ、地方ノ狀況ニ依ッテ行ハヌ所モアルト云フコトハ現ニ衆議院選舉法ニ於キマシテモ琉球其他ニ於テ當分行ハヌト云フコトデゴザイマスカラ、是ガ皆ガ摘テ總テ田舎マデ同シヤウナ程度ニマデ進歩シテ來タモノデ、其程度ノ上ニ於テ一様ニ行ハル、モノデナケレバ法律ト云ヘヌト云フコトハ、ゴザイマス、甚シキニ至テハ衛生上取締上トカ、此法ヲ施カヌ所ニハ衛生ノコトハ顧ミナクテ宜イカト云フ御質問デゴザイマシタケレドモ、ソレハ衛生ノコトニ差支ヘザル程度ニ於テ、當分ニ之ヲ行ハナイト云フノデゴザイマスカラ、之ヲ行ハナイ所ニハ衛生ノ取締ガ直チニ付カヌトハ申サレマス、私ハ謹シテ諸君ニ御相談ヲ致シテ且願ッテ置キタイノハ時日ガ許サヌ、餘ストコロ二日シカナイ、是ガ到底間ニ合ハヌ、貴族院ニ往ッテソレカラ先二日ハナイ、斯様なコトガ此案ノ成敗ニ若シモ十分ナ原因トナルモノデゴザイマス、私ハ甚ダ遺憾ニ思フ、私ハ衆議院ナラ衆議院ガ一日存スルナラバ、一日存スルトコロニ於テ、十分義務ヲ責任ヲ盡サナケレバナラヌ、善キ案ト思フナラバ是ガ貴族院ニ往ッテ世ニ所謂遺囑ニ思フ、私ハ衆議院ナラ衆議院ガ一日存スルナラバ、一日存スルコトハ今ノ通用語慣用語トシテ善意ノ否決ヲスルト云フコトハ將來斷シテ行ハヌコトニシタイト思ヒマス、善意ヲ以テ否決スルコトハ或ハ建議案位ニハ宜イカ知ラヌ、何トナレバ折角ノ御建議ガ政府既ニ其事アリ、貴君ノ御建議ハ遲ウゴザイマス、要リマセヌト云フノニハ必要カ知ラヌ、併ナガラ法律ヲ制定スル場合ニ當ッテ、今ヤ我國ノ總テノ制度ガ整ウテ居ルトキニ、唯一ツ市場法ノ制度ニ於テ缺ケテ居ルトコロガアリマスカラ、是ハ何處マデモ斯ノ如キ案ヲ作ルコトヲ以テ我院ノ主義トシ希望トシテ、茲ニ原案ヲ可決シテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、然ルニ齋藤君ハ有價證券マデ支配スルト由キキ大事デアルト云ハレマシタガ、有價證券ガ吾ノ眼中カラ見テ何デゴザイマス、取引所ニ關係ノア

ル人ナラ卒サ知ラズ、私ノ見ルトコロデハ有價證券ガ何デス、米ヤ茶ヤ魚鳥モ皆此中ニ這入ルノデアリマス、其事ノ大ナルト小ナルトノ違ハゴザイマセウガ、同シコトデアリマス、是ヲ以テ由々シキ大事トハ何事デアリマスカ、既ニ先年來明治二十九年第一號農商務省省令ニ現ニ米ト有價證券ニ對シテ現物ノ取引ヲ許スト云フコトヲ示シテアッデ、願ッテ來タラ許スト云フコトヲ示シテ有ル、是等ヲ十分運用スレバ宜イガ、之ヲ運用セヌノハ農商務省ガ敏腕デナイカラデ、農商務省ガ無能デアル、偶々彼ノ無能ナルガタメニ行ハナイノデアリマス、ソレ故ニ齋藤君ノ議論ハ甚ダ當リ得ナイト思ヒマス、諸君希ハクハ原案御贊成アラントラ希望致シマス

〔拍手起ル〕贊成々々〔ト呼フ者アリ〕

○宮古啓三郎君 政府委員ニ質問致シタイ——修正案ニ對スル 政府委員ノ意見ヲ聽キタイ

〔政府委員ハ居リマセヌ〕討論終結〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 答辯ハナイヤウデアリマス——採決ヲシマス——本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤニ付イテ採決ヲシマス、本案二讀會ヲ開クベシト云フ御方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數ト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定シ貴族院ニ送付セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ、確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕フ聲起ル

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キ全部ヲ議題ニシマス

市場法案(川島瀧藏君外一名提出)

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕フ聲起ル

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマス

〔拍手起ル〕

○大淵龍太郎君 此際議事日程ヲ變更シマシテ先刻御付託ニナリマシタ關東都督府及韓國駐軍陸軍軍法會議法案ノ委員會ノ經過ト、結果トヲ報告シタイト思ヒマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 報告ヲ御出シ下サイ

○大淵龍太郎君 先刻出シテ置キマシタ

○議長(杉田定一君) 大淵龍太郎君

〔大淵龍太郎君登壇〕

○大淵龍太郎君 先刻御付託ニナリマシタル關東都督府及韓國駐軍陸軍軍法會議法案ハ直チニ委員會ヲ開キ、政府委員ノ説明ヲ聽キマシテ本案ハ必要ナリト認マシテ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

○恆松隆慶君 議事日程ハ變更ニナリマシタカ、若シナラナケレバ議事日程ヲ變更シテ、議題ニ供セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 日程ヲ變更シテ日程第一ノ關東都督府及韓國駐軍陸軍軍法會議法案ヲ會議ニ付スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕フ聲起ル

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ議題トナリマシタ

關東都督府及韓國駐軍陸軍軍法會議法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會ノ續

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレタイ

○議長(杉田定一君) 本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○恆松隆慶君 讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り讀會ヲ省略シテ、確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

關東都督府及韓國駐軍陸軍軍法會議法案

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ——日程第九、高等學校ヲ四國ニ設置スルノ建議案、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、田中定吉君

第九 高等學校ヲ四國ニ設置スルノ建議案(田中定吉君外十名提出)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ掲載ス〕

高等學校ヲ四國ニ設置スルノ建議案

政府ハ宜ク四國青年子弟ノ爲四國中交通便利ノ地ニ高等學校設置ノ計畫アラムコトヲ望ム

右建議ス

〔田中定吉君登壇〕

○田中定一君 簡單ニ提出ノ理由ヲ申述ベマス、本案ハ高等學校ヲ四國ニ設置スルノ建議案トシテアリマスガ、其高等學校ト云フ意味ハ單ニ大學ノ豫科ト云フ意味デナイ

ノテ、ソレモ含シテ居リマスガ、其他ノ各專門學校モ此中ニ含シテ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、サウシテ其選擇ハ政府ノ意見モアリマセウシ、又地方ノ熱望モアリマスルカラ、ソレヲ斟酌シテ計畫ヲ建テラレシコトヲ望ムト云フ意味ナノデアリマス、四國ノ者ガ斯ノ如キ問題ヲ出シマスルト、我田引水デアルト云フヤウナ嫌疑ノ御考モアルカ知レマセヌガ、併ナガラ子ヲ知ル者親ニ如カスト致シマスレバ、四國ノコトヲ知ルニハ四國ノ者ニ限ルノデゴザイマス、其知ルトコロヲ以テ主張ヲ諸君ニ訴ヘルト云フコトハ、決シテ憚ルトコロデハナカラウト思フノデゴザイマス、此問題ハ會テノ議會ニ於テ既ニ通過致シテ居ルト私ハ記憶シテ居リマス、此處ニ於テ理由ヲ嗚呼ガマシク申ス必要ハナイ、唯事實ニ就イテ一二諸君ニ聞イテ戴キタイト思フノデゴザイマス(「謹聽々々」ト呼フ者アリ)其事ハ太阪以西諸國ノ高等學校ノ事情ヲ調ベタモノガアリマスカラ、是ヲ申上テ諸君ノ御參考ニ供サウト思フ、先ヅ九州カラ申シマスルト云フト、九州ニハ五ツノ中學以上ノ學校ガアリマス、ソレハ神戸商業學校ト、第六高等學校ト、廣島高等師範ト、山口高等商業ト、岡山醫學學校ト、ソレカラ福岡大學、併ナガラ福岡大學ハ是以上ノ大學デアリマスカラ、之ヲ算出セズニ、五ツノ高等學校ガアルト云フノデアル、而シテ其下ノ中學校ハ詰リ此等學校ニ生徒ヲ供給スル中學校ノ數ハ幾ラアルカト云ヘバ、二十六アルデアリマス、サウシテソレカラ生産致シマスルトコロノ(笑聲起ル)一年間ノ卒業生ハドノ位アルカト云フト、千二百七十八人アル、之ヲ高等學校一ツニ割當テマスルト、中學校ノ數ハ高等學校一校ニ付イテ五ツト云フコトニナル、詰リ中學校五ニ付イテ高等學校一校ニ付按排ニナッテ居リマス、ソレカラ毎年ノ卒業生ヲ高等學校ニ割當テマスルト、一校當リガ二百五十人餘ニナッテ居リマス、ソレカラ又中國ノコトヲ調ベテ見シタ、中國ハ詰リ神戸以西門司間デアリマス、其間ニドノ位高等學校ガアルカト申シマスルト——是ハ少シ違ヒマシタ、前ノハ中國デゴザイマス、今度ハ九州ノ方ヲ申上ゲマス、詰リ長崎高等商業學校、ソレカラ第五高等學校、第七高等學校造士館、ソレカラ長崎醫學專門學校、ソレカラ熊本高等工業學校、此五ツデゴザイマス、九州ニハ——其下ニアリマスル中學校、詰リ以上ノ學校ニ生徒ヲ供給スル中學校ハドノ位アルカト云ヘバ、二十五校デゴザイマス、詰リ高等學校一校ニ付イテ七校、即チ中學校七校ニ付イテ高等學校一校ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ年々產出スルトコロノ卒業生ガ千五百人程アリマス、詰リ高等學校一校ニ付イテ二百九人餘ノ割合ニナッテ居リマス、三百人ニ付イテ高等學校一校ト云フコトニナル、之ヲ兩方見マスルト云フト、學校ニ於テハ五校或ハ七校ニ於テ高等學校一ツト云フコトニナッテ居ル、生徒ニ於テハ二百人或ハ三百人ト云フ間ニ於テ高等學校一ツト云フ有様デアリマス、四國ノ現狀ヲ申上ゲマスト四國ニハ中學校ガ十七校アリマス、サウシテ年々ノ卒業生ガ八百十二人アル、之ニ依ッテ見マスルト云フト、四國ニハ高等教育ヲ受ケル學校、詰リ中學以上ヲ教ヘルトコロノ學校ガ三ツ或ハ四ツアッテ宜イト云フ比較ニナッテ居リマス、然ルニ今日ノ狀態ハドウデゴザイマセウカ、四國ニハ一ノ中學以上ノ教育ヲ受ケル學校ガナイト云フコトニナッテ居リマス、四國ノ青年ハ詰リ唯苗代ニ苗ヲ作タナリテ立枯レデアリマス、移植スル田地ガアリマセヌ、教育上ニ於テ饑饉ニ遭ウテ居ルト云フ姿デアリマス、ドウゾ諸君ノ贊成ニ依リマシテ十分ニ政府ニ於テ調査ヲ致サレマシテ、適當ナ學校ヲ適當ナ所ニ置キマシテ、四國ノ青年子弟ノタメニ盡サ

レンコトヲ望ミマス
○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員議長指名ニセラレンコトヲ望ミマス
○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り九名ノ委員議長指名ト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、其通り決シマス——日程第十、國語及字音假名遣ニ關スル建議案等ヲ議題トシマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、小川平吉君

第十 國語及字音假名遣ニ關スル建議案(三輪信次郎君外二名提出)

國語及字音假名遣ニ關スル建議案
明治三十三年八月文部省令第十四號小學令施行規則第二號表假名遣改定ハ不時運ノ進歩ニ反シタル、誠ニ不都合ナリ且不條理ナル改定デアリマスルカラシテ之ヲ廢止セシコトヲ望ムト云フ建議案デゴザイマス、此ノ如キ縱令假名遣ハ現今一般ノ國語學者ハ勿論、文學社會ニ於テモ認メラレナイ假名遣ノ改定アルノミナラズ、兒童ノ教育上ニ於テ誠ニ不都合ナル結果ヲ來シ、延イテ國粹保存ニ向テ少ナカラズ弊害ヲ及ボスコトデゴザイマスカラ、本案ニ御贊成ヲ願ヒマス、詳細ハ委員會ニ於テ述べマス
○恆松隆慶君 本案モ九名ノ委員、議長指名ニセラレンコトヲ望ミマス
○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、議長指名九名ノ委員ニ付託スルトニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、其通り決シマス、報告ガアリマス
〔書記朗讀〕
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
港灣修築速成ニ關スル建議案
提出者 守屋 此助君 大津 淳一郎君 平島 松尾君
中西 光三郎君 多田 作兵衛君 粕谷 義三君
丸山 嵯峨一郎君 内藤 魯一君 橋本 久太郎君
淺 羽 靖君 小川 平吉君 望月 小太郎君
中西 六三郎君
各省營繕事務統一ニ關スル建議案
提出者 征矢野 半彌君 磯部 四郎君 中西 光三郎君
粕谷 義三郎君 藤 金 作君 菊池 武德君
山口 熊野君

一 委員ヲ指名スル左ノ如シ

高等學校ヲ四國ニ設置スルノ建議案

江原 節君 大野 久次君

武内 美代吉君 須見 千次郎君

松家 徳二君 松井 源内君

國語及字音假名遣ニ關スル建議案

竹越 與三郎君 松本 君平君

柚木 慶二君 澤 來太郎君

荒川 五郎君 岡井 藤之丞君

○議長(杉田定一君) 次回ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニ

テ散會致シマス

午後四時十五分散會